

令和5年度 産業保健調査研究報告書

労働安全衛生法令改正に伴う化学物質管理に係る
取り組みに関する調査研究：和歌山県の実態

令和6年3月

労働者健康安全機構

和歌山産業保健総合支援センター

まえがき

2022年5月労働安全衛生法令が改正され、化学物質規制の仕組みが変更されました（一部令和6年4月1日施行）。これまでは、特定化学物質障害予防規則（特化則）、有機溶剤中毒予防規則（有機則）等に基づく個別・具体的な規制でしたが、これからは、自律的な管理を基軸とする規制へと転換されました。新たな仕組みでは、措置を必要とする対象物質が大幅に拡大され、国が定めた管理基準を達成する手段は、有害性情報に基づくリスクアセスメントにより事業者が自ら選択することになります。特化則、有機則等の対象物質は引き続き同規則が適用されますが、一定の要件を満たした場合は、自律的な管理が容認されます。このような新しい仕組みに対応して、現状の化学物質管理体制を見直さないといけません。

和歌山県においては、産業医の選任義務がない、労働者数が50人未満の小規模事業場が多いことから、安全衛生管理体制が不十分な事業場が多いと考えられます。そのため、化学物質を扱っている場合は、新たな仕組みに対応できるような支援が必要なことも多いと考えられます。大規模、中規模事業場であっても、新たな仕組みに対応するには困難なことがあり、支援が必要な可能性があります。

そこで、和歌山産業保健総合支援センターは、和歌山県内の事業場における労働安全衛生法改正に伴う化学物質管理に係る取り組み状況についてアンケート調査を行いました。本報告書はその結果をまとめたものです。本報告書が多くの方々の事業場の方々、産業保健関係者等に広く活用され、事業場における自発的な化学物質管理に繋がることを期待しています。

最後に、本調査にご協力いただきました事業場および関係各位に深く感謝申し上げます。

令和6年3月

労働者健康安全機構

和歌山産業保健総合支援センター

所長 竹下 達也

目次

まえがき

I. 調査概要	1
1) 目的	1
2) 対象・方法	1
3) 調査研究体制	1
4) 調査結果	2
5) 考察	5
6) 小規模事業場における新しい化学物質管理の実施に向けた支援	7

II. 調査結果	9
----------	---

資料	35
----	----

I 調査概要

I. 調査概要

1) 目的

2022年5月労働安全衛生法令が改正され、化学物質規制の仕組みが変更された（一部令和6年4月1日施行）。特定化学物質障害予防規則（特化則）、有機溶剤中毒予防規則（有機則）等に基づく個別・具体的な規制から、自律的な管理を基軸とする規制へと転換された。新たな仕組みでは、措置を必要とする対象物質が大幅に拡大され、国が定めた管理基準を達成する手段は、有害性情報に基づくリスクアセスメントにより事業者が自ら選択することになる。特化則、有機則等の対象物質は引き続き同規則が適用されるが、一定の要件を満たした場合は、自律的な管理が容認される。このような新しい仕組みに対応して、現状の化学物質管理体制を見直す必要がある。

和歌山県においては、産業医の選任義務がない、労働者数50人未満の小規模事業場が多く、安全衛生管理体制が不十分な事業場が多いと考えられる。そのため、化学物質を扱っている場合は、新たな仕組みに対応できるような支援が必要である。大規模、中規模事業場であっても、新たな仕組みに対応するには困難なことがあり、支援が必要な可能性がある。

そこで、和歌山県内の事業場における、自律的な管理を基軸とした新たな化学物質管理の取り組み状況を明らかにするとともに、今後の自律的な化学物質管理に向けた支援を検討することを目的とする。

2) 対象・方法

和歌山産業保健総合支援センターに登録されている約4000事業場のうち、会社名あるいはホームページの記載内容から化学物質を扱っていると判断できた800事業場に対して、質問紙によるアンケート調査を郵送法で行った。アンケートは令和5年9月から10月に配布・回収した。19件の廃業等があり781事業場の中から191件の回収であった（回収率24.5%）。

アンケート票は、各事業場における、労働安全衛生法令等の改正の周知、ラベル表示、SDS交付、リスクアセスメントの対象物質の取り扱い、有害物のばく露の軽減状況、リスクアセスメント対象健康診断（特殊健康診断）の実施状況、（安全）衛生委員会での検討事項、安全衛生教育の実施、労働者が罹患した疾病（がん等）の把握、管理者の選任、和歌山産業保健総合支援センターに希望する支援、回答者の職種を尋ねる内容とした。

3) 調査研究体制

研究代表者：	和歌山産業保健総合支援センター	所長	竹下達也
研究分担者：	和歌山産業保健総合支援センター	相談員	宮下和久
	和歌山産業保健総合支援センター	相談員	藤吉 朗
	和歌山産業保健総合支援センター	相談員	田中智博
	和歌山産業保健総合支援センター	相談員	森岡郁晴
	和歌山産業保健総合支援センター	労働衛生専門職	生田善太郎
	和歌山産業保健総合支援センター	産業保健専門職	平林愛子

4) 調査結果

(1) 事業場について

今回特に着目した化学物質を使用していると思われる事業場を抽出したが、34 事業場 (17.8%) は「化学物質を扱っていますか」の問いに「いいえ」と回答し、回答しないまま質問紙が返送されてきた。その割合が高いと判断し、啓発のチラシを作成し、対象となった事業場にそれを郵送した。

「化学物質を扱っていますか」の問いに「はい」と回答し、回答があった事業場は 157 事業場であった (有効回答率 20.1%)。事業場の業種は、製造業 (114 社、73%) が最も多く、次いで、サービス業 (10 社、6%) が多かった。

今回特に小規模事業場に着目し、労働者数 (パートを含む) で事業場の規模 (労働者数が無回答の 2 事業場を除く) を、50 人未満の小規模 (83 事業場)、50 人以上 100 人未満の中規模 (30 事業場)、100 人以上の大規模 (42 事業場) と分けて比較することにした。

製造業は、小規模のうち 54 事業場 (65%)、中規模のうち 26 事業場 (87%)、大規模のうち 33 社 (79%) であり、小規模ではその割合が低かった。

産業医がいる事業場は、小規模が 19%と、中規模 (100%)、大規模 (95%) より少なかった。一方、産業医のいない事業場は、小規模が 78%と、中規模 (0%)、大規模 (5%) より多かった。

衛生管理者がいる事業場は、小規模が 24%と、中規模 (97%)、大規模 (98%) より少なかった。一方、衛生管理者のいない事業場は、小規模が 75%と、中規模 (0%)、大規模 (2%) より多かった。

衛生推進者がいる事業場は、小規模が 45%であったが、中規模 (23%)、大規模 (38%) に比べ有意な差ではなかった。

保健師・看護師 (衛生管理者としてではなく、主に (産業) 看護職として業務しているもの) がいる事業場は、小規模が 5%と、中規模 (7%)、大規模 (36%) に比べ少なかった。一方、保健師・看護師のいない事業場は、小規模が 88%と、中規模 (80%)、大規模 (60%) に比べ多かった。

衛生委員会 (安全衛生委員会) が毎月開かれている事業場は、小規模が 25%と、中規模 (97%)、大規模 (90%) に比べ少なかった。一方、小規模では、必要なときに開かれている (16%)、開かれていない (51%) が多かった。

作業環境測定を定期的実施している事業場は、小規模が 42%と、中規模 (70%)、大規模 (79%) に比べ少なかった。一方、小規模では、時々実施している (13%)、実施していない (45%) が多かった。

定期的実施している (89 社)、時々実施している (15 社) と回答した事業所に対して第 3 管理区分の有無を尋ねた結果、どちらの回答であっても、いずれの規模であっても 1 割〜3 割の事業場で第 3 管理区分があるという回答であった。

作業主任者を選任している事業場は、小規模が 66%と、中規模 (93%)、大規模 (83%) に比べ少なかった。一方、小規模では、選任していない (31%) が多かった。

(2) 労働安全衛生法令等の改正の周知

労働安全衛生法令等が改正されたことを知っている事業場は、小規模が36%と、中規模(63%)、大規模(83%)に比べ少なかった。一方、小規模では、知っているが、詳しい内容までわからない(37%)、知らない(27%)が多かった。

(3) ラベル表示・SDS交付・リスクアセスメントの対象物質の取り扱い

ラベル表示・SDS交付・リスクアセスメント実施の対象物質を扱っている事業場は、小規模で76%と、中規模(90%)、大規模(90%)に比べ少なかった。その一方で、わからない(13%)が多かった。「扱っている」と「わからない」を足し合わせると89%となり、中規模、大規模と同様の扱っている割合となった。

ラベル表示、SDSに基づいて作業者に衛生教育などを行っている事業場は、小規模で59%と、中規模(85%)、大規模(76%)に比べ少なかった。

ラベル対象物を別容器に入れる、または包装して保管するときは、内容物の名称、人体に及ぼす作用を明示している事業場は、小規模で51%と、中規模(63%)、大規模(79%)に比べ少なかった。

化学物質のリスクアセスメントを行っている事業場は、小規模で40%と、中規模(67%)、大規模(74%)に比べ少なかった。その一方で、小規模は、行っていない(行う予定がない、検討していない)(35%)が多かった。

化学物質のリスクアセスメントを行った結果に係る記録を作成して保存している事業場は、小規模が76%であったが、中規模(80%)、大規模(94%)に比べ有意な差ではなかった。

SDS交付対象物を扱う設備の改造、修理、清掃等の仕事を外注する際、請負人に化学物質の危険性、有害性について文書で交付している事業場は、小規模で19%と、中規模(33%)、大規模(43%)に比べ少なかった。その一方で、小規模は、行っていない(交付する予定がない、検討していない)(42%)が多かった。

(4) 有害物のばく露の軽減状況

有害物の労働者へのばく露を軽減するために講じている措置は、いずれの規模であっても、局所排気装置・全体換気装置の設置(小規模61%、中規模57%、大規模71%)、呼吸用保護具の使用(小規模71%、中規模83%、大規模60%)、保護眼鏡・保護衣・保護手袋・シューズカバー等の使用(小規模71%、中規模77%、大規模86%)が多かった。小規模では、代替物の使用(11%)が中規模(17%)、大規模(40%)に比べ少なく、設備の密閉(14%)も中規模(40%)、大規模(21%)に比べ少なかった。

ばく露を軽減するために講じた措置については、掲示・書面交付・記録内容を確認できる機器の設置などで労働者に通知している事業場は、小規模で40%と、中規模(80%)、大規模(67%)に比べ少なかった。その一方で、小規模は、通知していない(通知する予定がない、検討していない)(30%)が多かった。

ばく露を軽減するために講じた措置について、関係する労働者の意見を聞く機会を設けている事業場は、小規模で36%と、中規模(83%)、大規模(64%)に比べ少なかった。その

一方で、小規模は、設けていない（設ける予定がない、検討していない）（30%）が多かった。

（5）リスクアセスメント対象物健康診断（特殊健康診断）の実施状況

特殊健康診断を雇い入れ時・配置替え時に実施している事業場は、小規模で5%と、中規模（27%）、大規模（29%）に比べ少なかった。特殊健康診断を定期的（概ね6月ごとに1回）に実施している事業場は、小規模で66%と、中規模（87%）、大規模（88%）に比べ少なかった。

特殊健康診断を行った時は、個人票を作成している事業場は、小規模が89%であったが、中規模（96%）、大規模（97%）に比べ有意な差ではなかった。

特殊健康診断の結果を受診者に通知している事業場は、小規模が98%であったが、中規模（100%）、大規模（100%）に比べ有意な差ではなかった。

特殊健康診断の結果で、必要な場合は、就業場所の変更、作業の転換等の事後措置を実施している事業場は、小規模で54%と、中規模（93%）、大規模（62%）に比べ少なかった。その一方で、小規模は、実施していない（実施する予定がない、検討していない）（21%）が多かった。

特殊健康診断の結果に基づいて講じた措置については、掲示・書面交付・記録内容を確認できる機器の設置などで労働者に通知している事業場は、小規模で51%と、大規模（49%）と差がなかった。中規模は、74%と多かった。

特殊健康診断の結果に基づいて講じた措置について、関係する労働者の意見を聞く機会を設けている事業場は、小規模で51%と、大規模（57%）と差がなかった。中規模は、81%と多かった。

（6）（安全）衛生委員会での検討事項

衛生委員会でばく露の程度を低減するための措置について話し合っている事業場は、小規模で59%と、大規模（62%）と差がなかった。中規模は、83%と多かった。

衛生委員会で特殊健康診断結果に基づいて講じた措置について話し合っている事業場は、小規模が51%であったが、中規模（70%）、大規模（45%）と差がなかった。

（7）安全衛生教育の実施

労働者の雇い入れ、作業内容の変更の際に行う安全衛生教育を行っている事業場は、小規模が59%と、中規模（97%）、大規模（90%）に比べ少なかった。

新たに職務に就くこととなった職長等に安全衛生教育を行っている事業場は、小規模で52%と、中規模（63%）、大規模（74%）に比べ少なかった。その一方で、小規模は、行っていない（行う予定がない、検討していない）（28%）が多かった。

（8）労働者が罹患した疾病（がん等）の把握

労働者が罹患したがん等について把握する方法を整えている事業場は、小規模で28%と、中規模（50%）、大規模（48%）に比べ少なかった。

(9) 管理者の選任

化学物質管理者を選任する準備をしている事業場は、小規模で63%と、中規模(90%)、大規模(90%)に比べ少なかった。その一方で、小規模は、選任する予定がない、検討していない(36%)が多かった。

化学物質管理者を選任する予定がない理由は、いずれの規模であっても、選任する義務があるのを知らなかった(小規模33%、中規模67%、大規模67%)が多かった。

保護具着用管理責任者を選任する準備をしている事業場は、小規模で65%と、中規模(83%)、大規模(81%)に比べ少なかった。その一方で、小規模は、選任する予定がない、検討していない(31%)が多かった。

化学物質管理者を選任する予定がない理由は、いずれの規模であっても、選任する義務があるのを知らなかった(小規模38%、中規模100%、大規模57%)が多かった。

(10) 和歌山産業保健総合支援センターの支援

新たな化学物質管理について、和歌山産業保健総合支援センターに望むことは、いずれの規模であっても、セミナー、講習会の開催等による情報提供(小規模58%、中規模73%、大規模67%)、マニュアル・ガイドブック等の作成・配付(小規模53%、中規模60%、大規模50%)が多かった。

(11) 回答者の職種・立場

回答者(複数の場合は回答責任者)の職種・立場は、小規模の場合、経営責任者(43%)がもっと多く、中規模、大規模の場合、衛生管理者・衛生推進者(中規模53%、大規模52%)が最も多かった。

5) 考察

ここでは、今回特に着目した小規模事業場について考察を進めることにする。

(1) 事業場について

今回化学物質を使用していると思われる事業場を抽出したが、「化学物質を扱っていますか」の問いに「いいえ」と回答した事業場が少なくなかった。実際の取り扱いの有無はわからないが、啓発のチラシを郵送した。これがラベルを見る契機になることを期待している。

今回化学物質を扱っていると思われる事業場を選定したために、分析できた業種は、製造業が7割と最も多かった。この業種の割合を規模別にみると、小規模では中規模、大規模に比べて低かった。このことは、小規模には製造業以外の業種が多く含まれていることを示している。

小規模は、産業医のいない事業場が8割、衛生管理者のいない事業場が8割であった。衛生推進者のいる事業場は5割で、(安全)衛生委員会が毎月開催されている事業場は3割であった。このような状態であっても、作業環境測定を定期的実施している事業場は4割、作業主任者

を選任している事業場は7割と、化学物質管理は進んでいた。

(2) 労働安全衛生法令等の改正の周知

労働安全衛生法令等が改正されたことを知っている事業場は4割と少なく、法改正から半年経ってもまだ周知されていないことが示唆された。

(3) ラベル表示・SDS 交付・リスクアセスメントの対象物質の取り扱い

ラベル表示・SDS 交付・リスクアセスメント実施の対象物質を扱っている事業場は8割であったが、わからないの1割を足すと中規模、大規模と同様の割合となったことから、ラベル等を確認して、どのような化学物質を含んでいるのかを十分に確認できていない可能性がある。

ラベル表示、SDS に基づいて作業者に衛生教育などを行っている事業場は6割、ラベル対象物を別容器に入れる、または包装して保管するときは、内容物の名称、人体に及ぼす作用を明示している事業場は5割と、SDS 交付対象物を扱う設備の改造、修理、清掃等の仕事を外注する際、請負人に化学物質の危険性、有害性について文書で交付している事業場は2割と少なかった。化学物質の有害・危険性に対する認識が低い可能性がある。

化学物質のリスクアセスメントを行っている事業場は4割と少なかったが、実施している事業場ではその結果に係る記録を保存している事業場は8割と、中規模(8割)、大規模(9割)と同様に行われていた。

(4) 有害物のばく露の軽減状況

有害物の労働者へのばく露を軽減するために講じている措置は、局所排気装置・全体換気装置の設置(6割)、呼吸用保護具の使用(7割)、保護眼鏡・保護衣・保護手袋・シューズカバー等の使用(7割)と、中規模、大規模と同様の割合であったが、代替物の使用(1割)、設備の密閉(1割)は少なく、作業・工程の変更を伴うものは難しいことが示された。

ばく露を軽減するために講じた措置について、労働者に通知している事業場(4割)、労働者の意見を聞く機会を設けている事業場(4割)と、中規模、大規模に比べ少なく、講じた措置の労働者への広報は進んでいなかった。

(5) リスクアセスメント対象物健康診断(特殊健康診断)の実施状況

特殊健康診断を雇い入れ時・配置替え時に実施している事業場(1割)、定期的実施している事業場(1割)と少なく、特殊健康診断はほとんど実施されていないことが明らかとなった。

特殊健康診断の個人票を作成している事業場(9割)、結果を受診者に通知している事業場(98%)と、実施している事業場では、中規模、大規模と同様に個人票の作成、結果通知が行われていた。

特殊健康診断の結果で、必要な場合は、就業場所の変更、作業の転換等の事後措置を実施している事業場(5割)は少なかったが、措置を講じている事業場では、労働者への通知

(5割)、関係する労働者の意見を聞く機会の設置(5割)は、中規模、大規模と同様に行われていた。

(6) (安全) 衛生委員会での検討事項

小規模であっても衛生委員会を開催している事業場では、ばく露の程度を低減するための措置(6割)、特殊健康診断結果に基づいて講じた措置(5割)について話し合っている事業場の割合は、中規模、大規模と同様であった。

(7) 安全衛生教育の実施

労働者の雇い入れ、作業内容の変更の際に行う安全衛生教育(6割)、新たに職務に就くこととなった職長等に安全衛生教育(5割)を行っている事業場は少なかった。安全衛生教育は十分に実施されていないことが示された。

(8) 労働者が罹患した疾病(がん等)の把握

労働者が罹患したがん等について把握する方法を整えている事業場(3割)は少なかった。業務起因性の疾患の把握だけでなく、治療と仕事の両立を進める状況が整っていないことが窺えた。

(9) 管理者の選任

化学物質管理者を選任する準備をしている事業場(6割)が少なく、選任する予定がない理由は、選任する義務があるのを知らなかった(3割)が多かった。保護具着用管理責任者を選任する準備をしている事業場(7割)も少なく、選任する予定がない理由は、選任する義務があるのを知らなかった(4割)が多かった。法改正の周知が行き届いていないことと符合すると考えられる。

(10) 和歌山産業保健総合支援センターの支援

新たな化学物質管理について、和歌山産業保健総合支援センターに望むことは、セミナー、講習会の開催等による情報提供(6割)、マニュアル・ガイドブック等の作成・配付(5割)が多く、セミナーの開催、ガイドブックの作成の必要性が示唆された。

(11) 回答者の職種

回答者の職種・立場は、経営責任者(4割)が多く、事業場の安全衛生の責任者が回答してくれていると考えられた。

6) 小規模事業場における新しい化学物質管理の実施に向けた支援

まず、使用している化学物質のラベル表示により含有成分を確認することを啓発する必要がある。

また、労働安全衛生法令等が改正され、自律的な化学物質管理に進んでいることを啓発する必要がある。

具体的には、ラベル表示やSDSに基づき、自社の作業者には衛生教育を、外注する際、請負人には化学物質の危険性、有害性について文書交付を、そして、リスクアセスメントの実施を行う必要性を啓発する必要がある。

有害物の労働者へのばく露を軽減するために講じている措置は、局所排気装置・全体換気装置の設置、保護具の使用に加え、代替物の使用や設備の密閉を検討する必要があること、また、講じた措置について、労働者に通知するとともに、労働者に意見を聞く機会を設けることについて啓発する必要がある。

一方、従来から規定されている特殊健康診断と、その事後措置を実施するように啓発する必要がある。

労働者の雇い入れ、作業内容の変更の際に行う安全衛生教育、新たに職務に就くこととなった職長等に行う安全衛生教育を行うように啓発する必要がある。

さらに、化学物質管理者、保護具着用管理責任者の選任についても、広報の必要性がある。

このような、広報の手段として、セミナーの開催とともに、啓発の資料を作成して、配付を行うことも肝要である。

II 調査結果

【統計的手法】

割合については、小規模、中規模、大規模の3群間で比較することにした。3群間の比較には χ^2 検定を用い、有意な場合に調整済み残差を算出した。統計学的有意水準は5%とした。

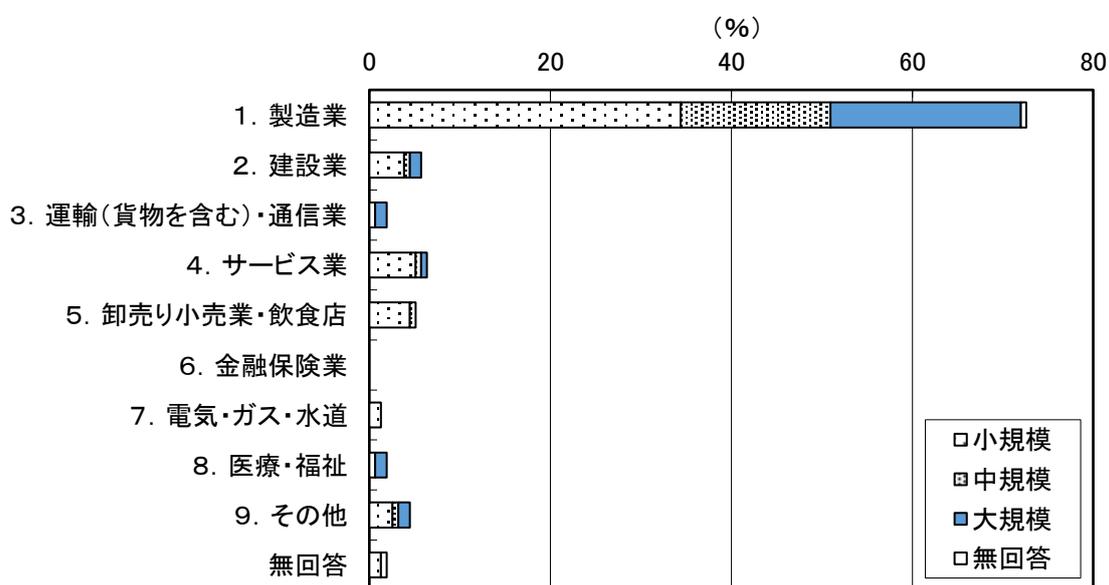
I 事業場について

1) 事業場

今回特に着目した化学物質を使用していると思われる事業場を抽出したが、34 事業場 (17.8%) は「化学物質を扱っていますか」の問いに「いいえ」と回答し、回答しないまま質問紙が返送されてきた。その割合が高いと判断し、啓発のチラシを作成し、対象となった事業場にそれを郵送した。

「化学物質を扱っていますか」の問いに「はい」と回答し、回答があった事業場は 157 事業場であった。

質問紙に回答した事業場の業種は、製造業 (114 社、73%) が最も多く、次いで、サービス業 (10 社、6%) が多かった。



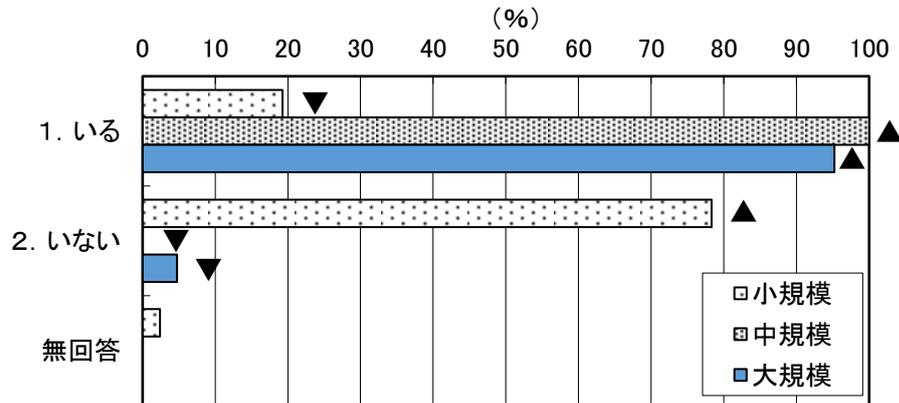
今回特に小規模事業場に着目し、労働者数 (パートを含む) で事業場の規模 (労働者数が無回答の 2 事業場を除く)、50 人未満の小規模 (83 事業場)、50 人以上 100 人未満の中規模 (30 事業場)、100 人以上の大規模 (42 事業場) と分けて比較することにした。

製造業は、小規模のうち 54 事業場 (64%)、中規模のうち 26 事業場 (87%)、大規模のうち 33 社 (79%) であり、小規模ではその割合が低かった。

2) 管理体制

○産業医

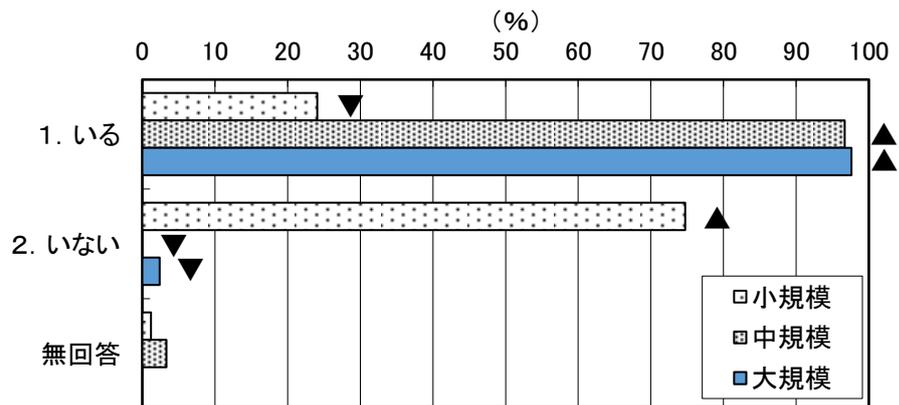
産業医がいる事業場は、小規模が19%と、中規模（100%）、大規模（95%）より少なかった。一方、産業医のいない事業場は、小規模が78%と、中規模（0%）、大規模（5%）より多かった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

○衛生管理者

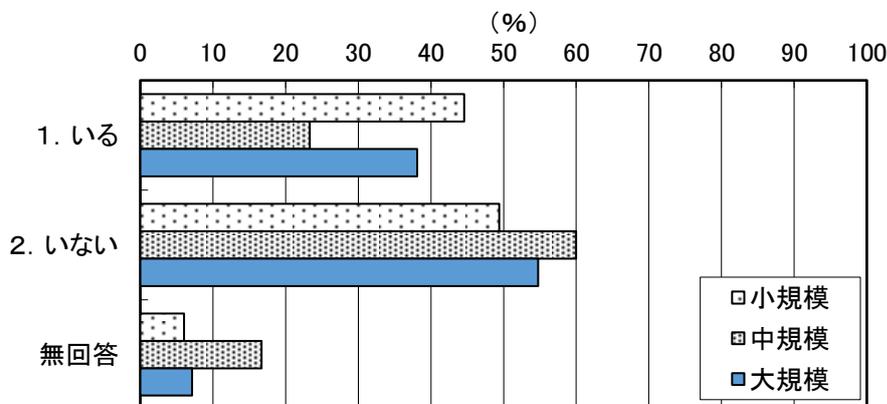
衛生管理者がいる事業場は、小規模が24%と、中規模（97%）、大規模（98%）より少なかった。一方、衛生管理者のいない事業場は、小規模が75%と、中規模（0%）、大規模（2%）より多かった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

○衛生推進者

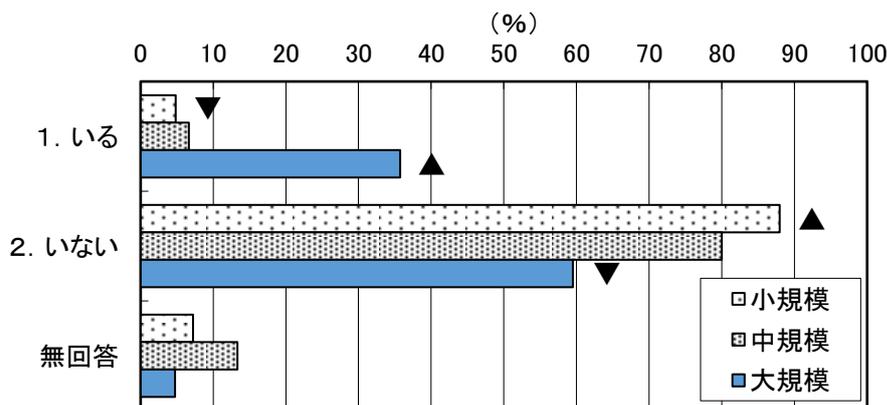
衛生推進者がいる事業場は、小規模が45%であったが、中規模（23%）、大規模（38%）に比べ有意な差ではなかった。



○保健師・看護師

（衛生管理者としてではなく、主に（産業）看護職として業務しているもの）

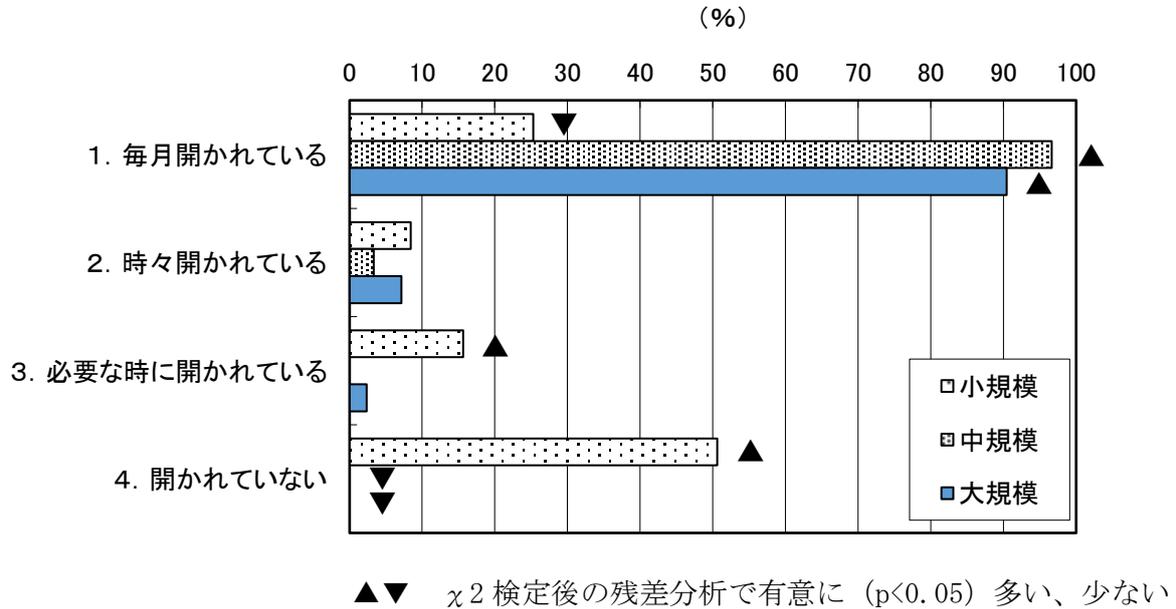
保健師・看護師がいる事業場は、小規模が5%と、中規模（7%）、大規模（36%）に比べ少なかった。一方、保健師・看護師のいない事業場は、小規模が88%と、中規模（80%）、大規模（60%）に比べ多かった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

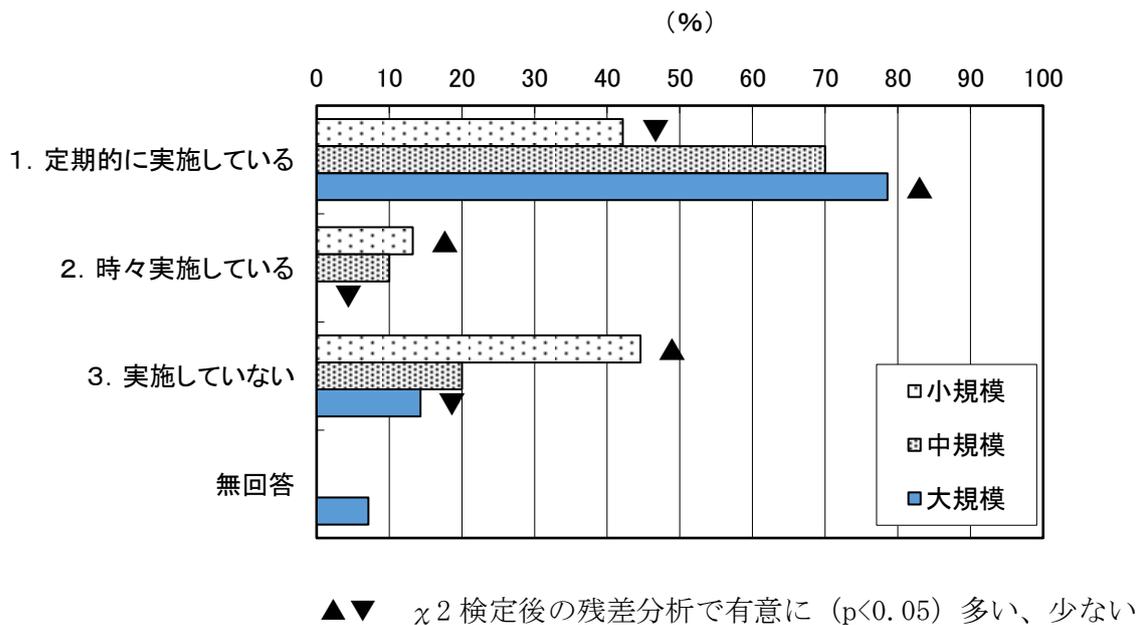
○衛生委員会（安全衛生委員会）

衛生委員会（安全衛生委員会）が毎月開かれている事業場は、小規模が25%と、中規模（97%）、大規模（90%）に比べ少なかった。一方、小規模では、必要なときに開かれている（16%）、開かれていない（51%）が多かった。

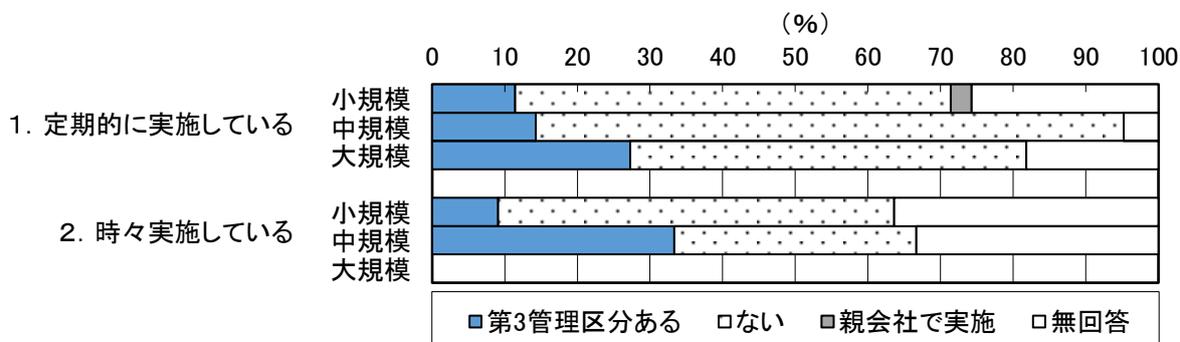


○作業環境測定

作業環境測定を定期的の実施している事業場は、小規模が42%と、中規模（70%）、大規模（79%）に比べ少なかった。一方、小規模では、時々実施している（13%）、実施していない（45%）が多かった。

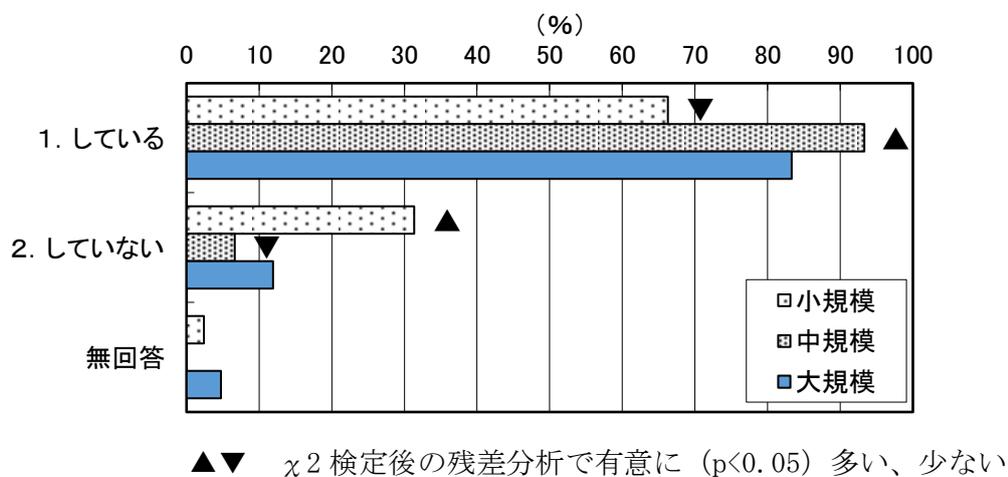


定期的に実施している（89社）、時々実施している（15社）と回答した事業所に対して第3管理区分の有無を尋ねた結果、どちらの回答であっても、いずれの規模であっても1割から3割の事業場で第3管理区分があるという回答であった。



○作業主任者の選任

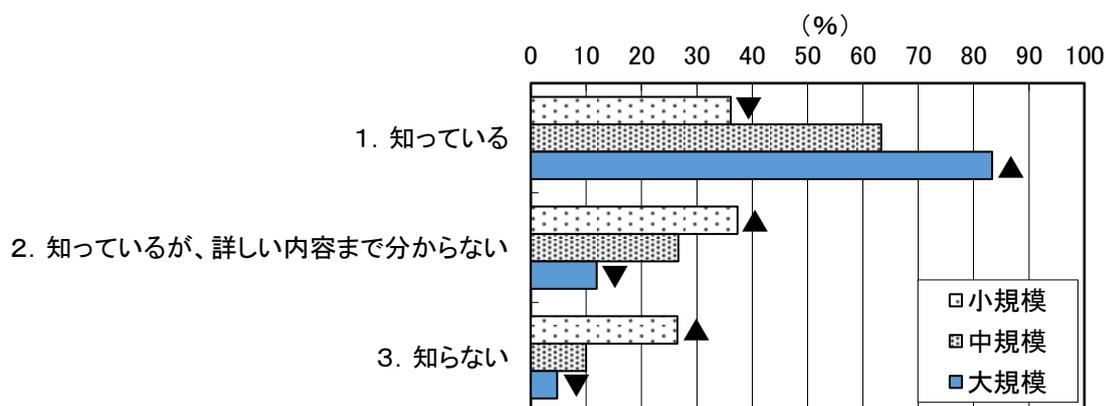
作業主任者を選任している事業場は、小規模が66%と、中規模（93%）、大規模（83%）に比べ少なかった。一方、小規模では、選任していない（31%）が多かった。



II 労働安全衛生法令等の改正の周知

問1 2022年5月に、労働安全衛生法令等が改正されたことを知っていますか。

労働安全衛生法令等が改正されたことを知っている事業場は、小規模が36%と、中規模(63%)、大規模(83%)に比べ少なかった。一方、小規模では、知っているが、詳しい内容までわからない(37%)、知らない(27%)が多かった。

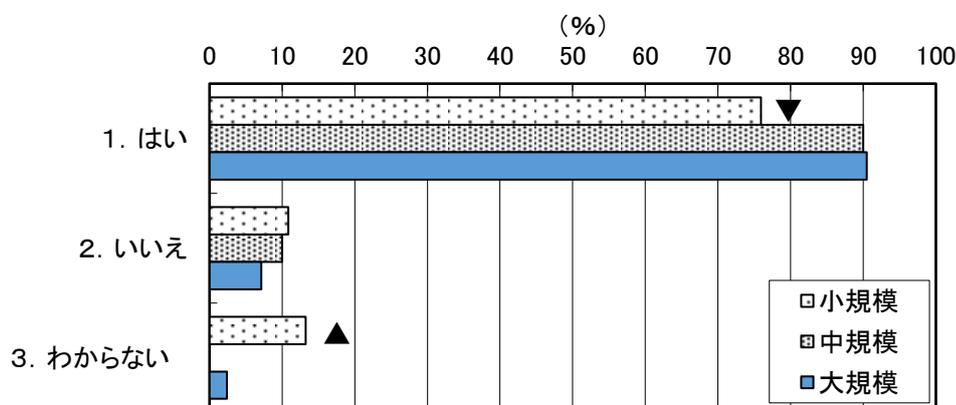


▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

III ラベル表示・SDS 交付・リスクアセスメントの対象物質の取り扱い

問2 ラベル表示・SDS 交付・リスクアセスメント実施の対象物質を扱っていますか。

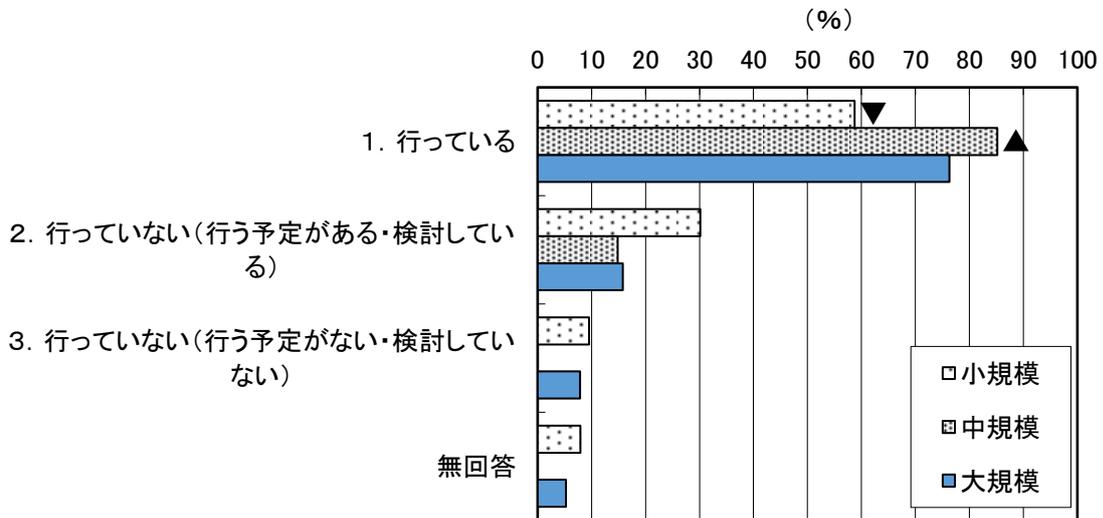
ラベル表示・SDS 交付・リスクアセスメント実施の対象物質を扱っている事業場は、小規模で76%と、中規模(90%)、大規模(90%)に比べ少なかった。その一方で、わからない(13%)が多かった。「扱っている」と「わからない」を足し合わせると89%となり、中規模、大規模と同様の扱っている割合となった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

問3 ラベル表示、SDSに基づいて作業者に衛生教育などを行っていますか。

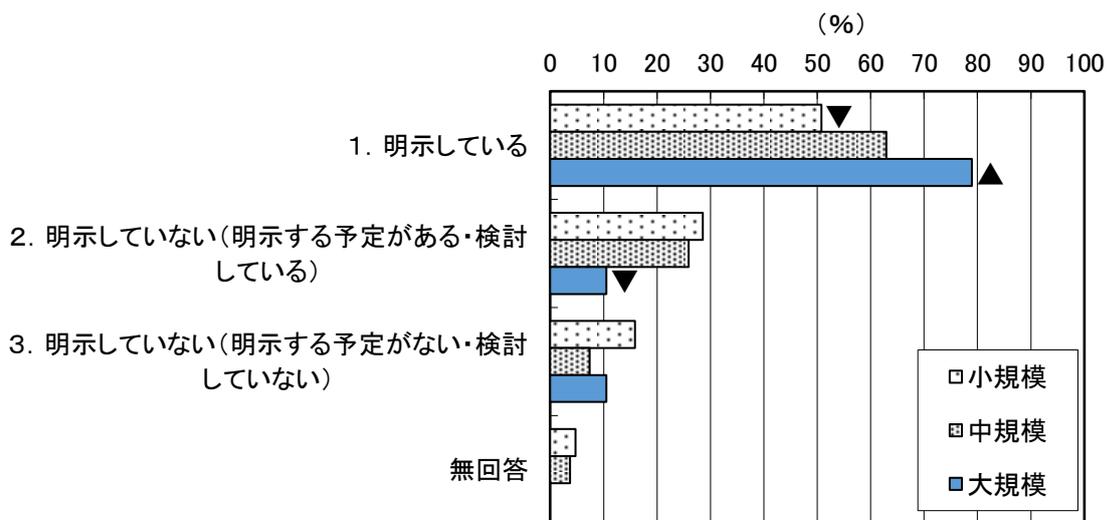
ラベル表示、SDSに基づいて作業者に衛生教育などを行っている事業場は、小規模で59%と、中規模（85%）、大規模（76%）に比べ少なかった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

問4 ラベル対象物を別容器に入れる、または包装して保管するときは、内容物の名称、人体に及ぼす作用を明示していますか。

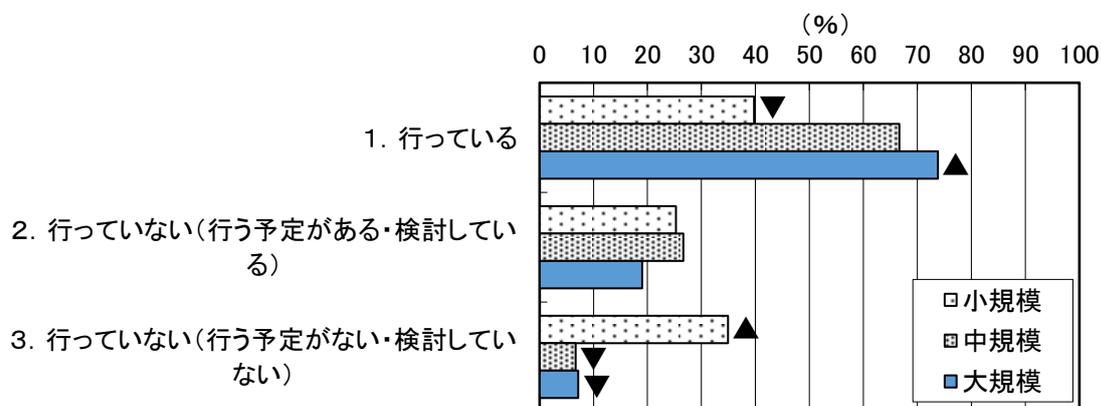
ラベル対象物を別容器に入れる、または包装して保管するときは、内容物の名称、人体に及ぼす作用を明示している事業場は、小規模で51%と、中規模（63%）、大規模（79%）に比べ少なかった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

問5 化学物質のリスクアセスメントを行っていますか。

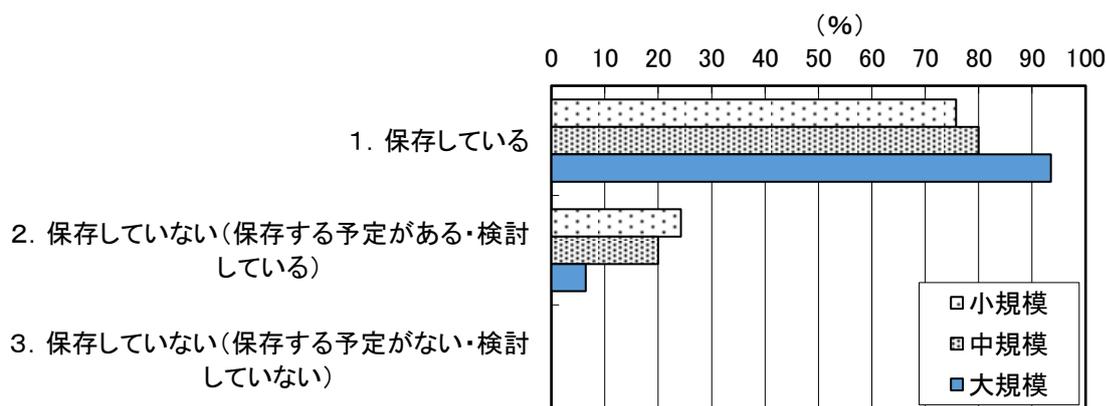
化学物質のリスクアセスメントを行っている事業場は、小規模で40%と、中規模(67%)、大規模(74%)に比べ少なかった。その一方で、小規模は、行っていない(行う予定がない、検討していない)(35%)が多かった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

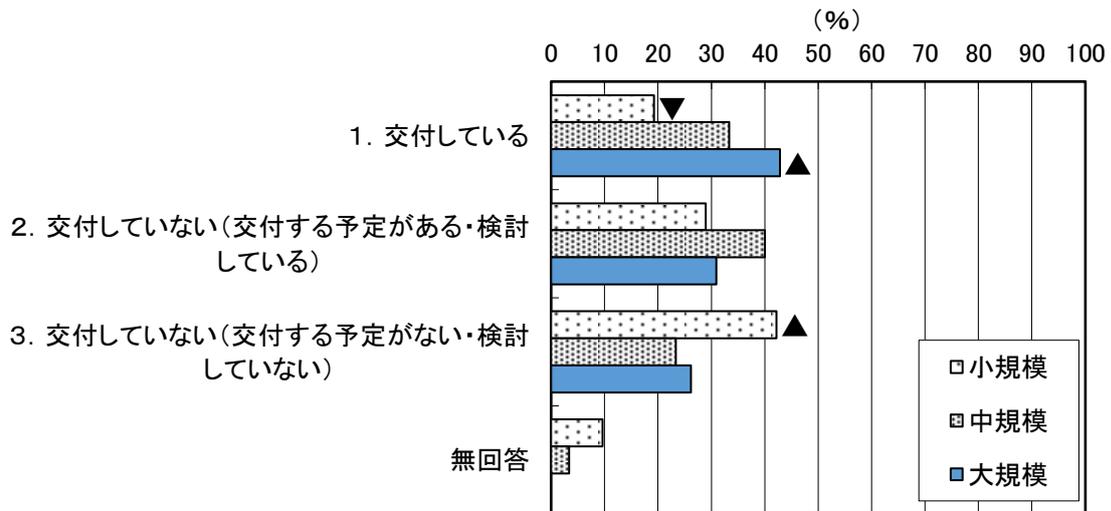
問6 化学物質のリスクアセスメントを行った結果に係る記録を作成して保存していますか。

化学物質のリスクアセスメントを行った結果に係る記録を作成して保存している事業場は、小規模が76%であったが、中規模(80%)、大規模(94%)に比べ有意な差ではなかった。



問7 SDS 交付対象物を扱う設備の改造、修理、清掃等の仕事を外注する際、請負人に化学物質の危険性、有害性について文書で交付していますか。

SDS 交付対象物を扱う設備の改造、修理、清掃等の仕事を外注する際、請負人に化学物質の危険性、有害性について文書で交付している事業場は、小規模で19%と、中規模(33%)、大規模(43%)に比べ少なかった。その一方で、小規模は、行っていない(交付する予定がない、検討していない)(42%)が多かった。



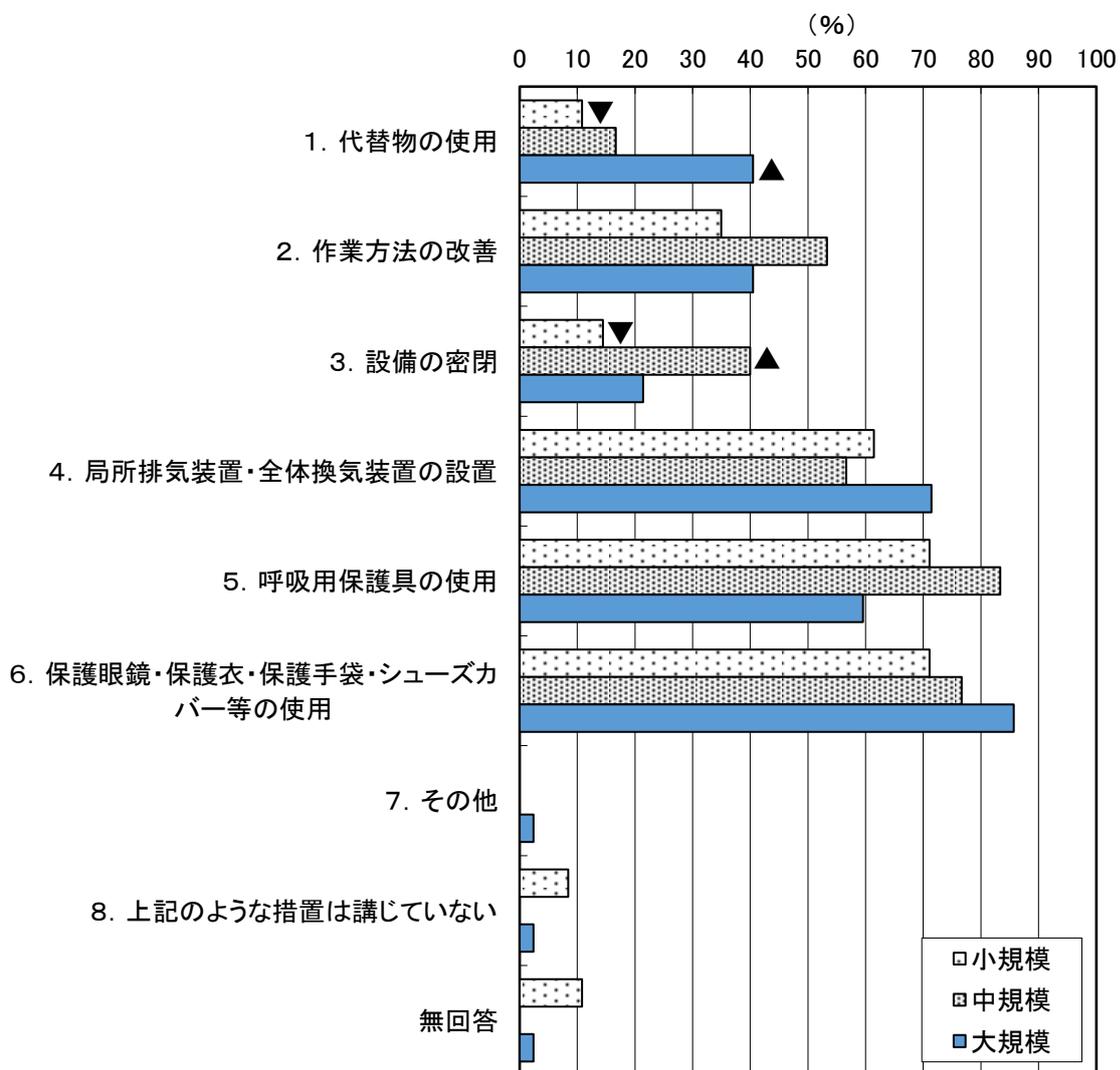
▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

IV 有害物のばく露の軽減状況

問8 有害物の労働者へのばく露を軽減するために、どのような措置を講じていますか。
(複数回答可)

有害物の労働者へのばく露を軽減するために講じている措置は、いずれの規模であっても、局所排気装置・全体換気装置の設置（小規模 61%、中規模 57%、大規模 71%）、呼吸用保護具の使用（小規模 71%、中規模 83%、大規模 60%）、保護眼鏡・保護衣・保護手袋・シューズカバー等の使用（小規模 71%、中規模 77%、大規模 86%）が多かった。

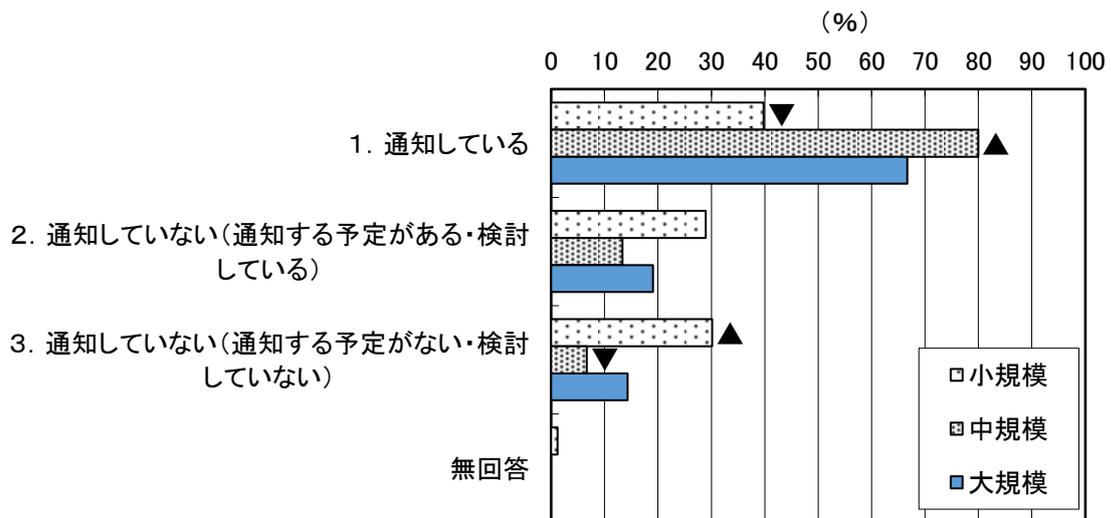
小規模では、代替物の使用（11%）が中規模（17%）、大規模（40%）に比べ少なく、設備の密閉（14%）も中規模（40%）、大規模（21%）に比べ少なかった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

問9 ばく露を軽減するために講じた措置については、掲示・書面交付・記録内容を確認できる機器の設置などで労働者に通知していますか。

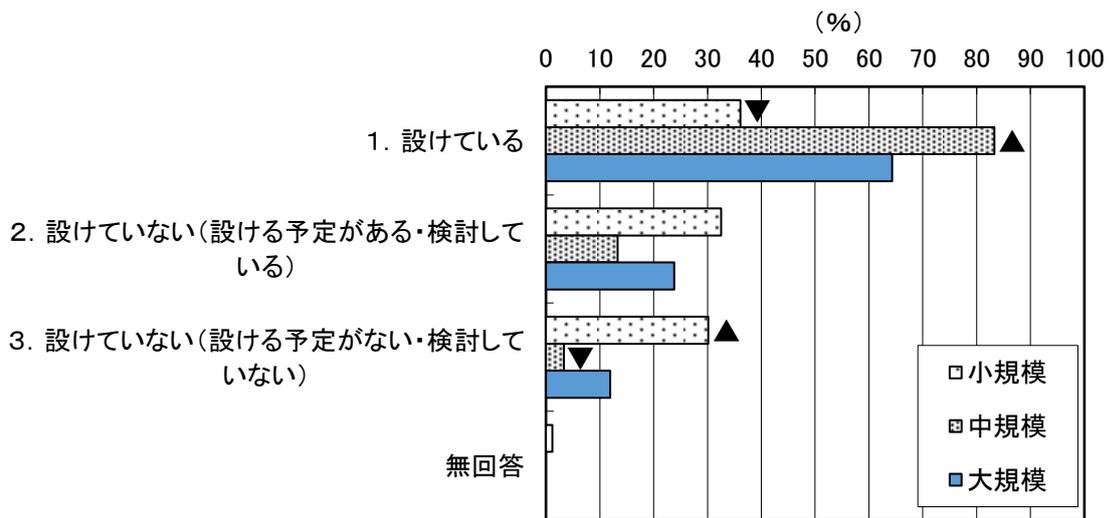
ばく露を軽減するために講じた措置については、掲示・書面交付・記録内容を確認できる機器の設置などで労働者に通知している事業場は、小規模で40%と、中規模(80%)、大規模(67%)に比べ少なかった。その一方で、小規模は、通知していない(通知する予定がない、検討していない)(30%)が多かった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

問 10 ばく露を軽減するために講じた措置について、関係する労働者の意見を聞く機会を設けていますか。

ばく露を軽減するために講じた措置について、関係する労働者の意見を聞く機会を設けている事業場は、小規模で36%と、中規模（83%）、大規模（64%）に比べ少なかった。その一方で、小規模は、設けていない（設ける予定がない、検討していない）（30%）が多かった。

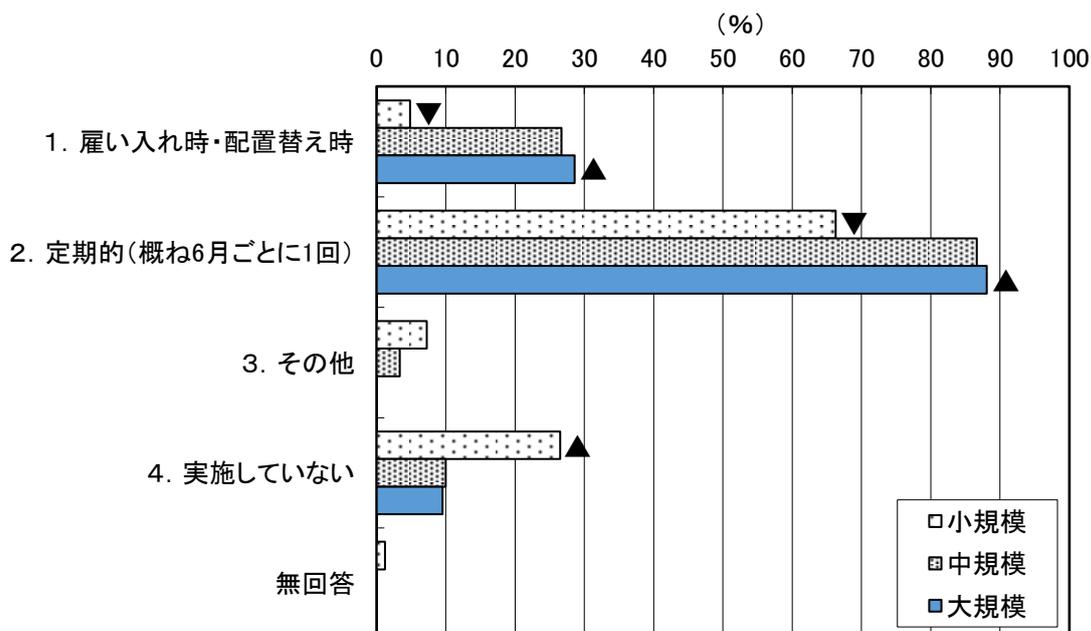


▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

V リスクアセスメント対象物健康診断（特殊健康診断）の実施状況

問 11 特殊健康診断を実施していますか。（複数回答可）

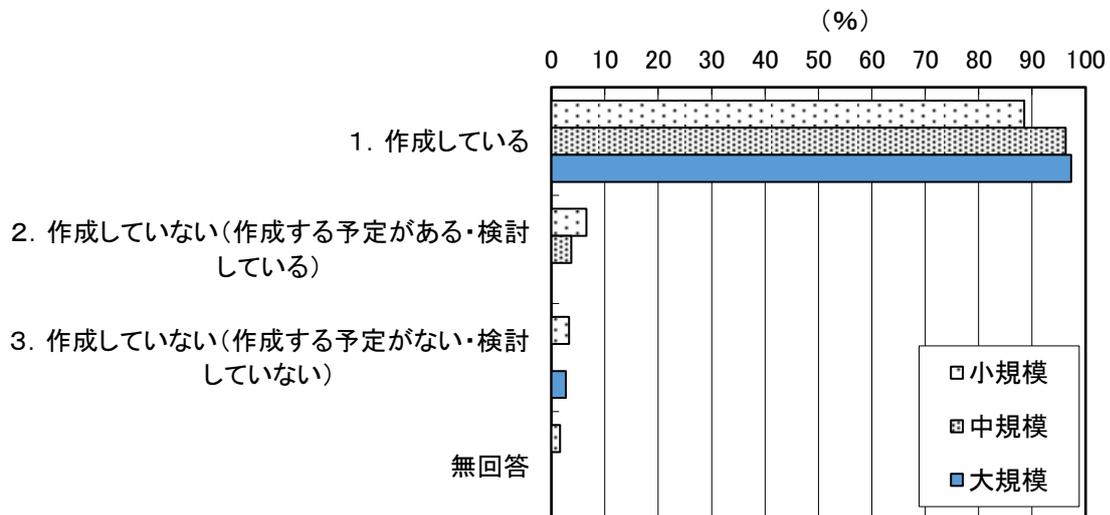
特殊健康診断を雇い入れ時・配置替え時に実施している事業場は、小規模で5%と、中規模（27%）、大規模（29%）に比べ少なかった。特殊健康診断を定期的（概ね6月ごとに1回）に実施している事業場は、小規模で66%と、中規模（87%）、大規模（88%）に比べ少なかった。その一方で、小規模は、実施していない（27%）が多かった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

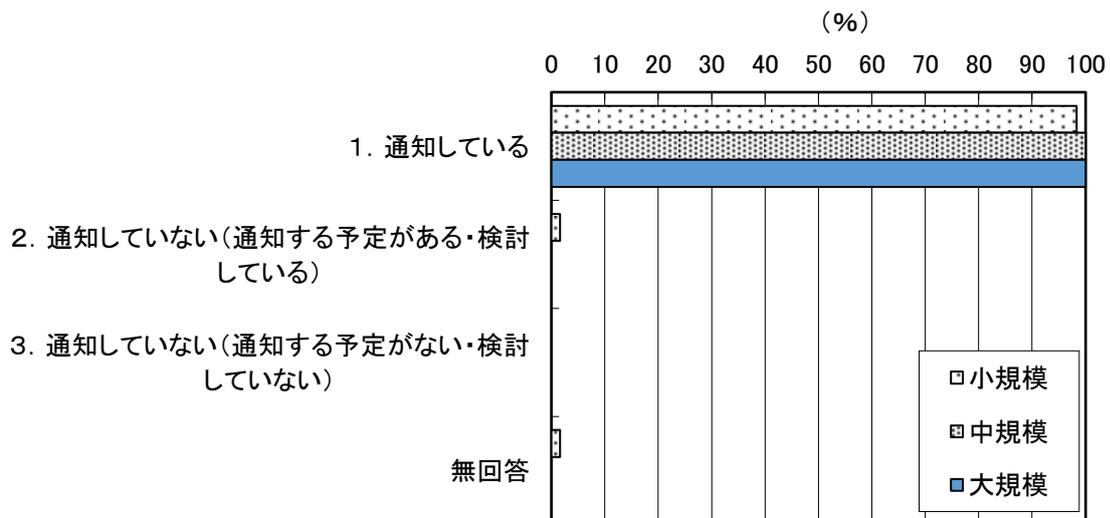
問 12 特殊健康診断を行った時は、個人票を作成していますか。

特殊健康診断を行った時は、個人票を作成している事業場は、小規模が 89%であったが、中規模（96%）、大規模（97%）に比べ有意な差はなかった。



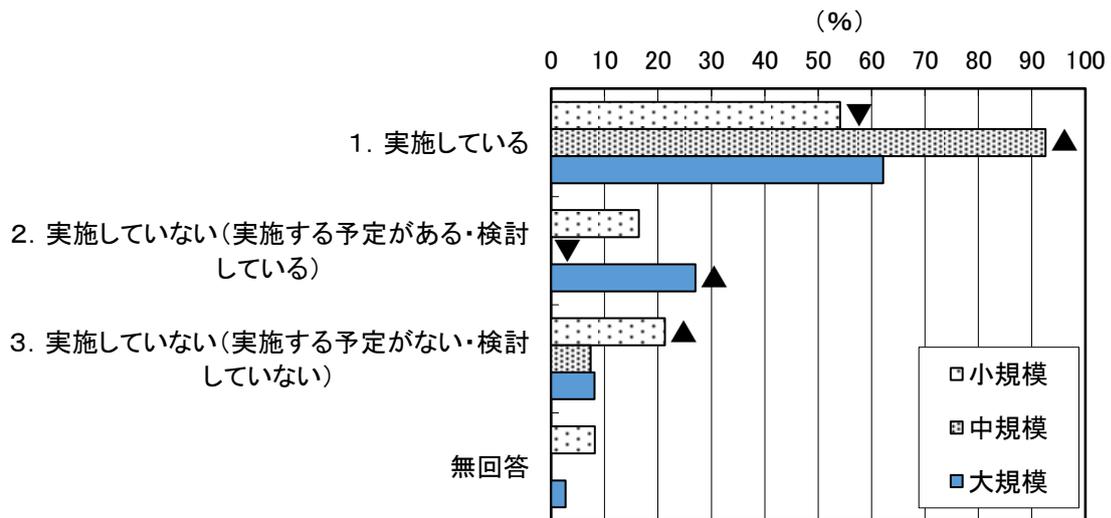
問 13 特殊健康診断の結果を受診者に通知していますか。

特殊健康診断の結果を受診者に通知している事業場は、小規模が 98%であったが、中規模（100%）、大規模（100%）に比べ有意な差はなかった。



問 14 特殊健康診断の結果で、必要な場合は、就業場所の変更、作業の転換等の事後措置を実施していますか。

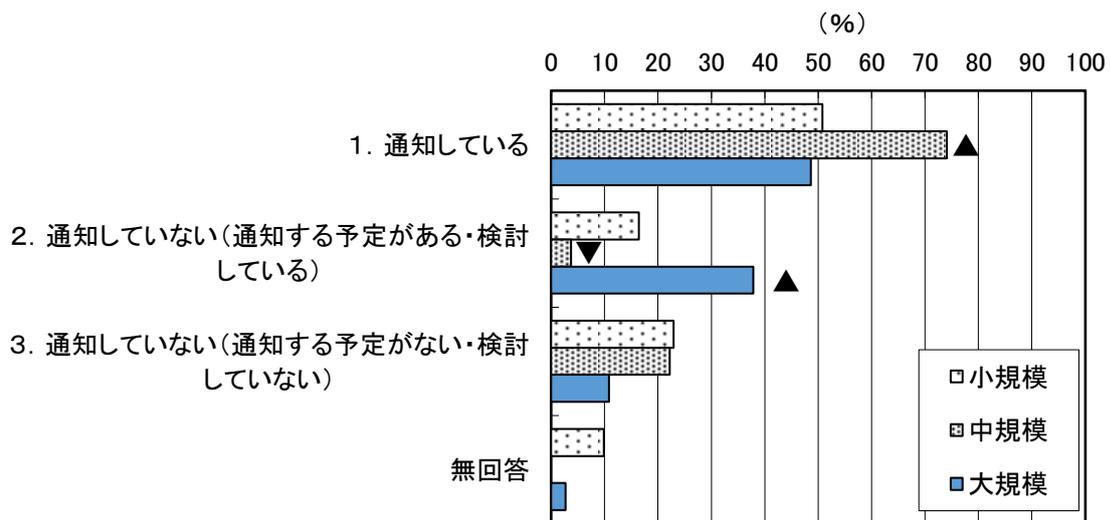
特殊健康診断の結果で、必要な場合は、就業場所の変更、作業の転換等の事後措置を実施している事業場は、小規模で54%と、中規模（93%）、大規模（62%）に比べ少なかった。その一方で、小規模は、実施していない（実施する予定がない、検討していない）（21%）が多かった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

問 15 特殊健康診断の結果に基づいて講じた措置については、掲示・書面交付・記録内容を確認できる機器の設置などで労働者に通知していますか。

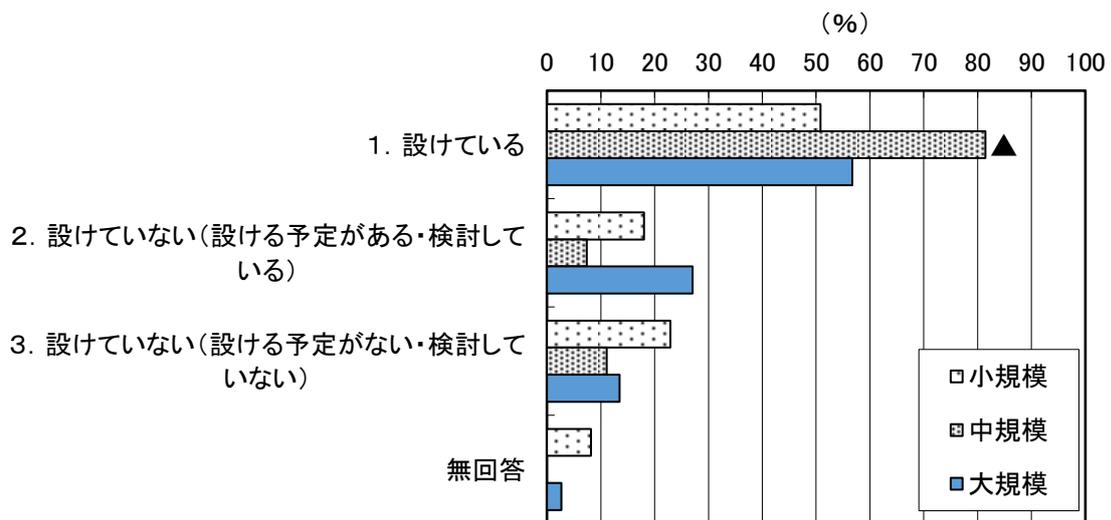
特殊健康診断の結果に基づいて講じた措置については、掲示・書面交付・記録内容を確認できる機器の設置などで労働者に通知している事業場は、小規模で51%と、大規模(49%)と差がなかった。中規模は、74%と多かった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

問 16 特殊健康診断の結果に基づいて講じた措置について、関係する労働者の意見を聞く機会を設けていますか。

特殊健康診断の結果に基づいて講じた措置について、関係する労働者の意見を聞く機会を設けている事業場は、小規模で51%と、大規模（57%）と差がなかった。中規模は、81%と多かった。



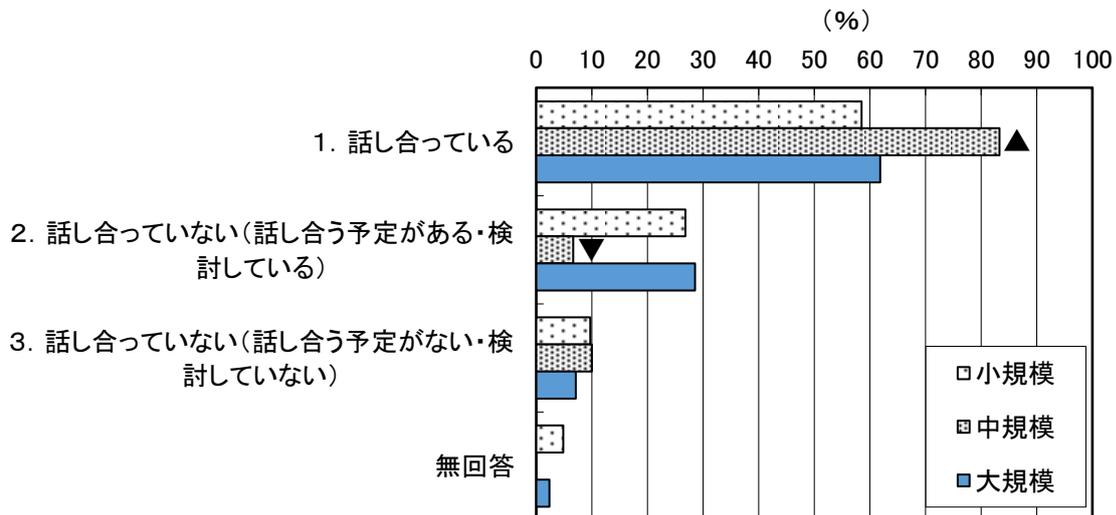
▲ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

VI (安全) 衛生委員会での検討事項

(衛生委員会が開催されていない場合はVIIへお進みください)

問 17 衛生委員会でばく露の程度を低減するための措置について話し合っていますか。

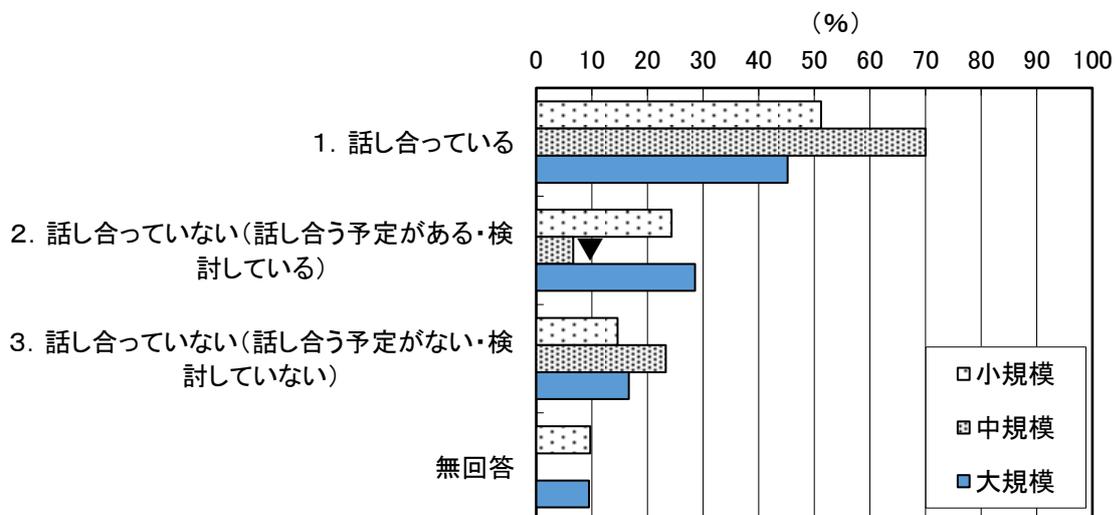
衛生委員会でばく露の程度を低減するための措置について話し合っている事業場は、小規模で59%と、大規模(62%)と差がなかった。中規模は、83%と多かった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

問 18 衛生委員会で特殊健康診断結果に基づいて講じた措置について話し合っていますか。

衛生委員会で特殊健康診断結果に基づいて講じた措置について話し合っている事業場は、小規模が51%であったが、中規模(70%)、大規模(45%)に比べ有意な差はなかった。

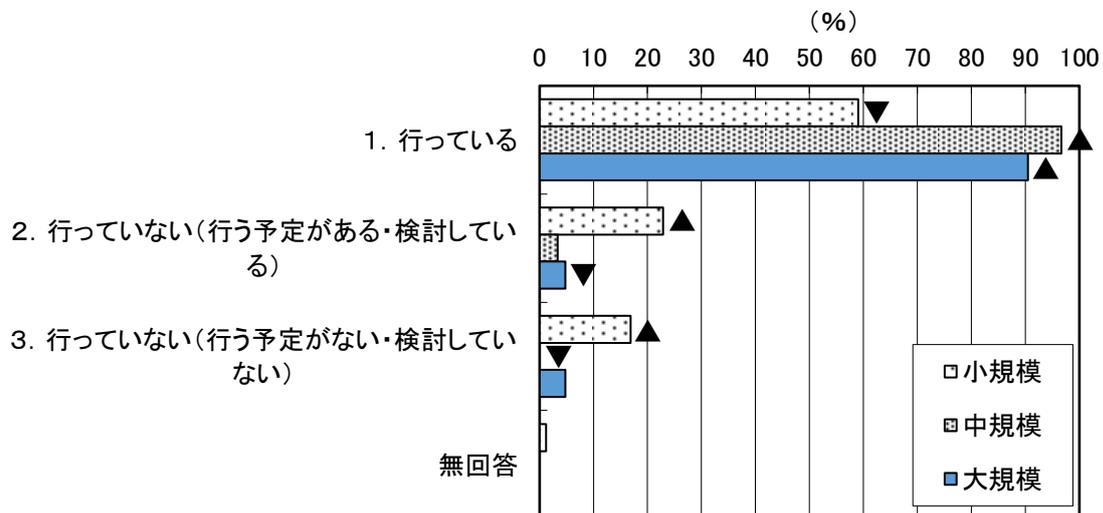


▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

Ⅶ 安全衛生教育の実施

問 19 労働者の雇い入れ、作業内容の変更の際に行う安全衛生教育を行っていますか。

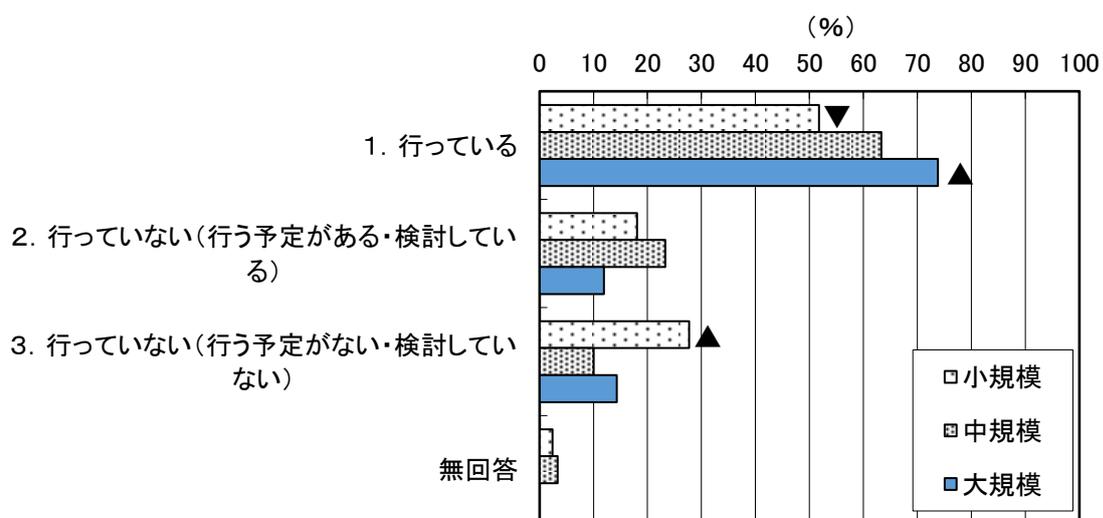
労働者の雇い入れ、作業内容の変更の際に行う安全衛生教育を行っている事業場は、小規模が59%と、中規模(97%)、大規模(90%)に比べ少なかった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

問 20 新たに職務に就くこととなった職長等に安全衛生教育を行っていますか。

新たに職務に就くこととなった職長等に安全衛生教育を行っている事業場は、小規模で52%と、中規模(63%)、大規模(74%)に比べ少なかった。その一方で、小規模は、行っていない(行う予定がない、検討していない)(28%)が多かった。

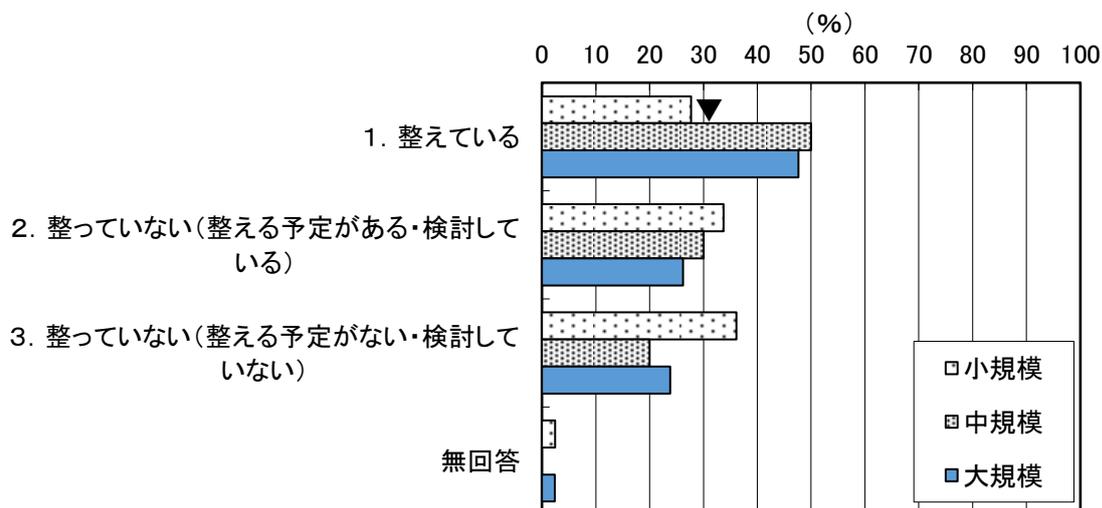


▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

VIII 労働者が罹患した疾病（がん等）の把握

問 21 労働者が罹患したがん等について把握する方法を整えていますか。

労働者が罹患したがん等について把握する方法を整えている事業場は、小規模で28%と、中規模（50%）、大規模（48%）に比べ少なかった。



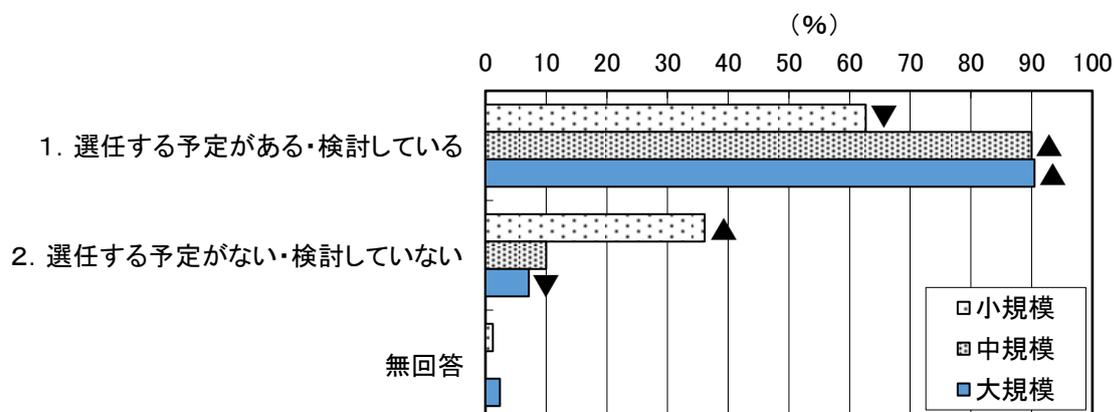
▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

IX 管理者の選任

これまで「通達・指針」の中で選任が努力義務であった化学物質管理責任者や保護具着用管理責任者は、今般「法」の中で義務化されたものとは別という認識でお書きください。

問 22 化学物質管理者を選任する準備はしていますか。

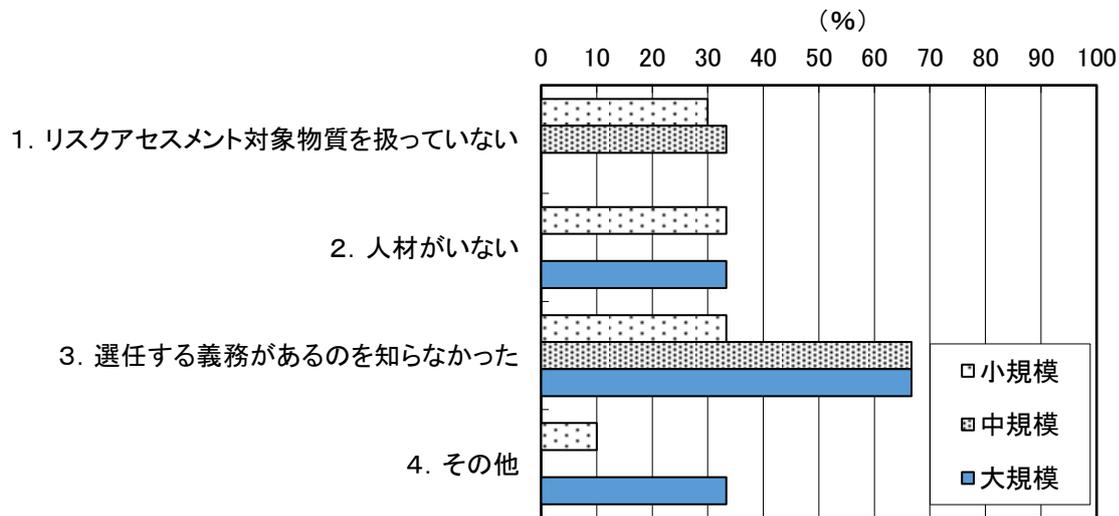
化学物質管理者を選任する準備をしている事業場は、小規模で63%と、中規模（90%）、大規模（90%）に比べ少なかった。その一方で、小規模は、選任する予定がない、検討していない（36%）が多かった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

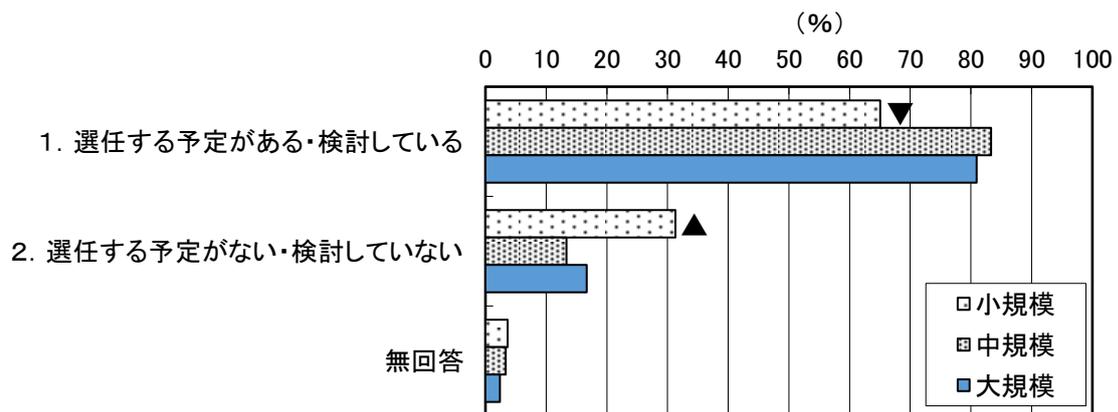
問 23 化学物質管理者を選任する予定がない理由は何ですか。

化学物質管理者を選任する予定がない理由は、いずれの規模であっても、選任する義務があるのを知らなかった（小規模 33%、中規模 67%、大規模 67%）が多かった。



問 24 保護具着用管理責任者を選任する準備はしていますか。

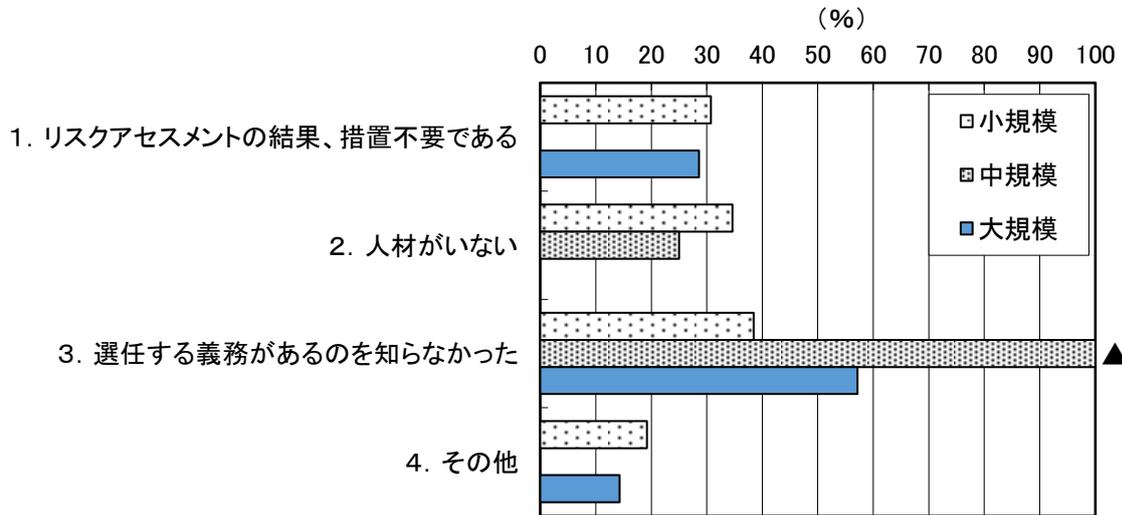
保護具着用管理責任者を選任する準備をしている事業場は、小規模で 65%と、中規模（83%）、大規模（81%）に比べ少なかった。その一方で、小規模は、選任する予定がない、検討していない（31%）が多かった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

問 25 保護具着用管理責任者を選任する予定がない理由は何ですか。

化学物質管理者を選任する予定がない理由は、いずれの規模であっても、選任する義務があるのを知らなかった（小規模 38%、中規模 100%、大規模 57%）が多かった。

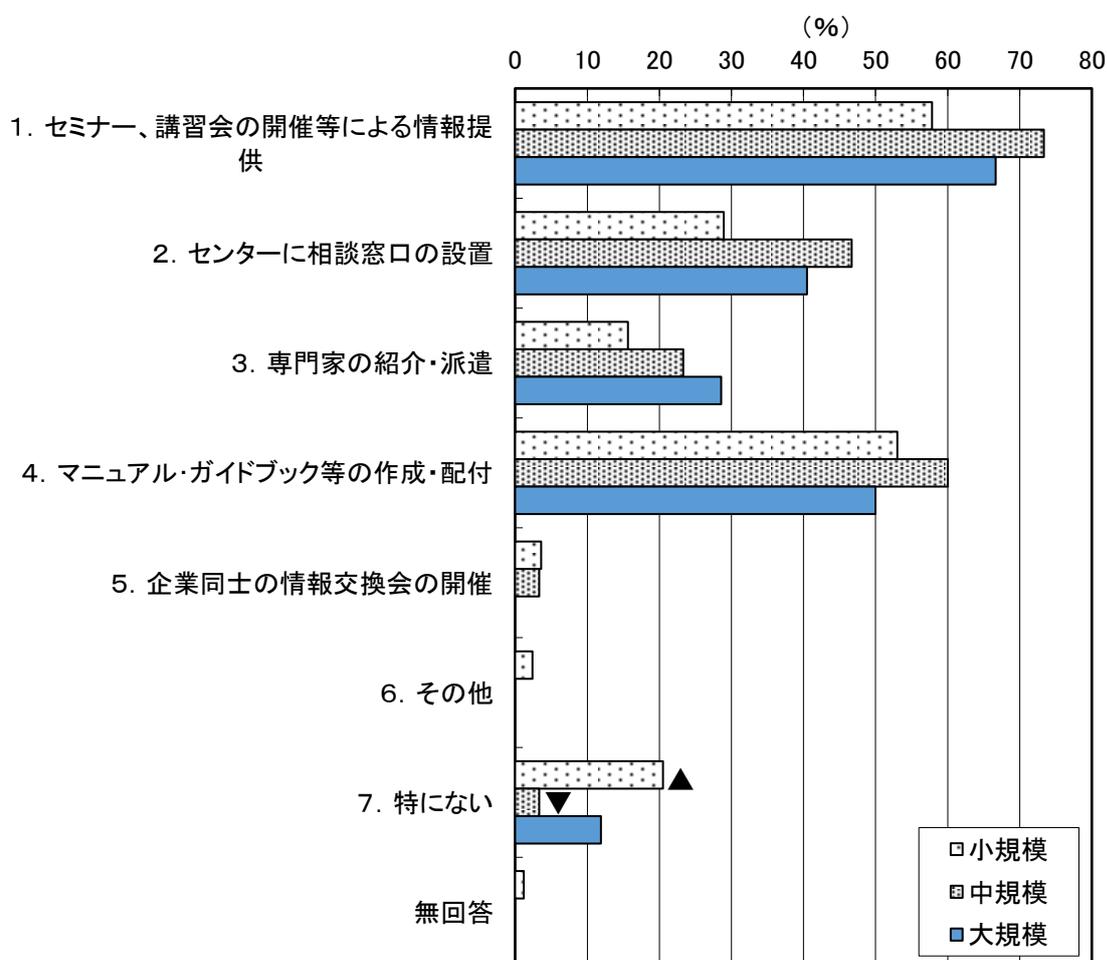


▲ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

X 和歌山産業保健総合支援センターの支援

問 26 新たな化学物質管理について、和歌山産業保健総合支援センターに望むことは何ですか。(複数回答可)

新たな化学物質管理について、和歌山産業保健総合支援センターに望むことは、いずれの規模であっても、セミナー、講習会の開催等による情報提供（小規模 58%、中規模 73%、大規模 67%）、マニュアル・ガイドブック等の作成・配付（小規模 53%、中規模 60%、大規模 50%）が多かった。

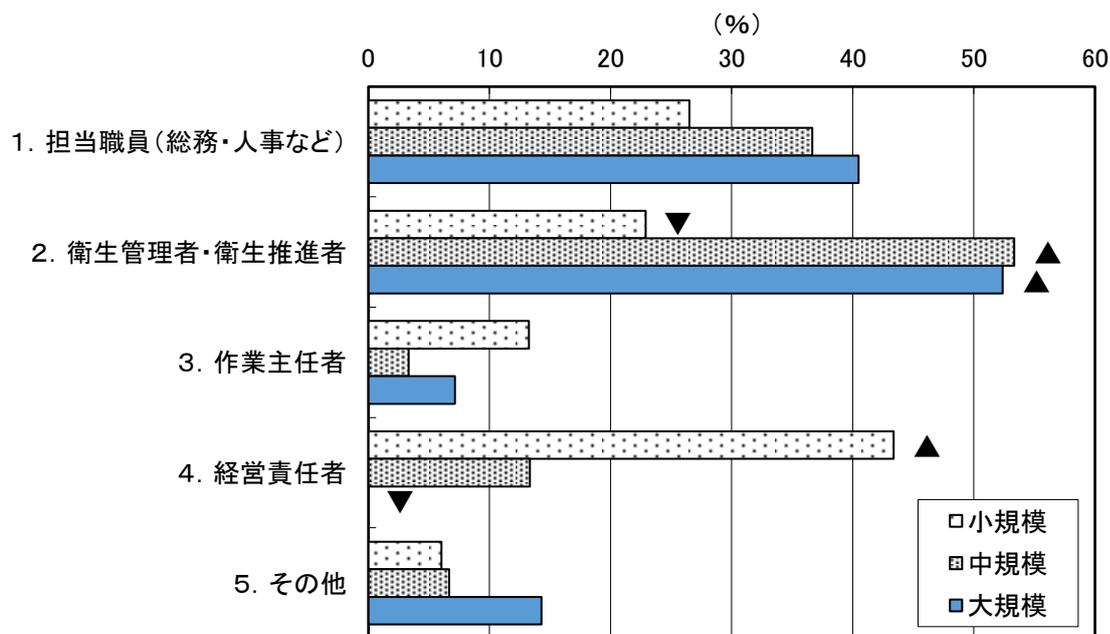


▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

XI 回答者の職種

問 27 回答者（複数の場合は回答責任者）の職種・立場をお教えてください。

回答者（複数の場合は回答責任者）の職種・立場は、小規模の場合、経営責任者（43%）がもっと多く、中規模、大規模の場合、衛生管理者・衛生推進者（中規模 53%、大規模 52%）が最も多かった。



▲▼ χ^2 検定後の残差分析で有意に ($p < 0.05$) 多い、少ない

資料

- ・ 質問票
- ・ 集計結果
- ・ ラベル表示に関する啓発資料

「新たな化学物質管理」に関するアンケート調査の依頼

令和5年9月
和歌山産業保健総合支援センター
所長 竹下達也

謹啓 初秋の候、貴社いよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、2022年5月労働安全衛生法令が改正され、化学物質規制の仕組みが変更されました（一部令和6年4月1日施行）。特定化学物質障害予防規則（特化則）、有機溶剤中毒予防規則（有機則）等に基づく個別・具体的な規制から、自律的な管理を基軸とする規制へと転換されます。新たな仕組みでは、措置を必要とする対象物質が大幅に拡大され、国が定めた管理基準を達成する手段は、有害性情報に基づくリスクアセスメントにより事業者が自ら選択することになります。特化則、有機則等の対象物質は引き続き同規則が適用されますが、一定の要件を満たした場合は、自律的な管理が容認されます。このような新しい仕組みに対応して、現状の化学物質管理体制を見直さないといけません。

そこで、このアンケート調査は、和歌山県内の事業場における、自律的な管理を基軸とした新たな化学物質管理の取り組み状況についてお尋ねし、和歌山産業保健総合支援センターとしての支援を検討するものです。

本調査への参加は自由意思で、参加しなくても特に不利益は生じません。事業場名は書きませんし、データは統計的に処理されますので、事業場や個人のプライバシーは完全に保護されています。取り組み状況が進んでいなくても、何ら問題になることはありません。正しくお書きください。また、調査結果を上記の目的以外に使用したりすることはありません。

なお、このアンケート調査は、独立行政法人 労働者健康安全機構 和歌山産業保健総合支援センターの調査研究事業です。

謹白

【アンケート記入上の注意】

1. 調査票の回答は、送付した1つの事業場の現状についてご回答ください。
2. 15分程度で記入できる調査内容になっています。
3. 調査票は、令和5年10月1日現在で記入してください。
4. 回答は数字を選ぶものと、一部に該当する数字を記入する場所があります。該当する数字に○印をつけてください。（ ）内には、具体的に記入してください。
5. 「その他（ ）」に該当する場合には、（ ）内に具体的に記入してください。
6. 回答したくない項目は、回答しなくても構いません。
7. 回答いただいた回答用紙を返信用封筒に同封して、『令和5年10月20日（金）』までにご返送ください。
8. 調査内容について不明な点がありましたら下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先：調査研究実施機関】

独立行政法人 労働者健康安全機構 和歌山産業保健総合支援センター
〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上2丁目1番22号 和歌山県日赤会館7階
TEL 073-421-8990 FAX 073-421-8991
メールアドレス info@wakayamas.johas.go.jp
ホームページ <https://wakayamas.johas.go.jp/>

新たな化学物質管理に関する調査

労働者健康安全機構
和歌山産業保健総合支援センター

自律的な管理を基軸とした新たな化学物質管理に対応できるような支援を検討するための参考にします。

Q1 貴事業場では化学物質を扱っていますか？

〔はい〕 ➡ 「はい」に○印をつけ、Q2にお進みください

〔いいえ〕 ➡ 「いいえ」に○印をつけ、回答せずに提出してください

Q2 本研究の趣旨に同意いただけましたか？

〔はい〕 ➡ 「はい」に○印をつけ、以下の質問に回答をお願いします

〔いいえ〕 ➡ 「いいえ」に○印をつけ、回答せずに提出してください

(記入方法)

該当する数字に○印を付け、空白欄には文字・数字をご記入ください。

把握されている状況をありのままにご記入してくださいますようお願いいたします。

なお、記載された内容は、秘密厳守し、他に漏らすことはありません。

I 事業場について

事業場	業種	1. 製造業 2. 建設業 3. 運輸（貨物を含む）・通信業 4. サービス業 5. 卸売り小売業・飲食店 6. 金融保険業 7. 電気・ガス・水道 8. 医療・福祉 9. その他（ ）
	労働者数 (パートを含む)	計（ ）人
管理体制	産業医	1. いる（ ）人 2. いない
	衛生管理者	1. いる（ ）人 2. いない
	衛生推進者	1. いる（ ）人 2. いない
	保健師・看護師※	1. いる（ ）人 2. いない
	衛生委員会（安全衛生委員会）	1. 毎月開かれている 2. 時々開かれている 3. 必要な時に開かれている 4. 開かれていない
作業環境測定を実施していますか。	1. 定期的に実施している ⇒第3管理区分が（ある・ない） 2. 時々実施している ⇒第3管理区分が（ある・ない） 3. 実施していない	
作業主任者を選任していますか。	1. している 2. していない	

※ 衛生管理者としてではなく、主に（産業）看護職として業務しているもの

II 労働安全衛生法等の改正の周知

問1	2022年5月に、労働安全衛生法令等が改正されたことを知っていますか。	1. 知っている 2. 知っているが、詳しい内容まで分からない 3. 知らない
----	-------------------------------------	---

V リスクアセスメント対象物健康診断（特殊健康診断）の実施状況

問 11	特殊健康診断を実施していますか。（複数回答可）	1. 雇入れ時・配置替え時 2. 定期的（概ね6月ごとに1回） 3. その他（ 4. 実施していない ⇒問 17 へ
問 12	特殊健康診断を行った時は、個人票を作成していますか。	1. 作成している 2. 作成していない（作成する予定がある・検討している） 3. 作成していない（作成する予定がない・検討していない）
問 13	特殊健康診断の結果を受診者に通知していますか。	1. 通知している 2. 通知していない（通知する予定がある・検討している） 3. 通知していない（通知する予定がない・検討していない）
問 14	特殊健康診断の結果で、必要な場合は、就業場所の変更、作業の転換等の事後措置を実施していますか。	1. 実施している 2. 実施していない（実施する予定がある・検討している） 3. 実施していない（実施する予定がない・検討していない）
問 15	特殊健康診断の結果に基づいて講じた措置については、掲示・書面交付・記録内容を確認できる機器の設置などで労働者に通知していますか。	1. 通知している 2. 通知していない（通知する予定がある・検討している） 3. 通知していない（通知する予定がない・検討していない）
問 16	特殊健康診断の結果に基づいて講じた措置について、関係する労働者の意見を聞く機会を設けていますか。	1. 設けている 2. 設けていない（設ける予定がある・検討している） 3. 設けていない（設ける予定がない・検討していない）

VI （安全）衛生委員会での検討事項 （衛生委員会が開催されていない場合はⅦへお進みください）

問 17	衛生委員会でばく露の程度を低減するための措置について話し合っていますか。	1. 話し合っている 2. 話し合っていない（話し合う予定がある・検討している） 3. 話し合っていない（話し合う予定がない・検討していない）
問 18	衛生委員会で特殊健康診断結果に基づいて講じた措置について話し合っていますか。	1. 話し合っている 2. 話し合っていない（話し合う予定がある・検討している） 3. 話し合っていない（話し合う予定がない・検討していない）

Ⅶ 安全衛生教育の実施

問 19	労働者の雇入れ、作業内容の変更の際に行う安全衛生教育を行っていますか。	1. 行っている 2. 行っていない（行う予定がある・検討している） 3. 行っていない（行う予定がない・検討していない）
------	-------------------------------------	---

問 20	新たに職務に就くこととなった職長等に安全衛生教育を行っていますか。	1. 行っている 2. 行っていない（行う予定がある・検討している） 3. 行っていない（行う予定がない・検討していない）
------	-----------------------------------	---

VIII 労働者が罹患した疾病（がん等）の把握

問 21	労働者が罹患したがん等について把握する方法を整えていますか。	1. 整えている 2. 整っていない（整える予定がある・検討している） 3. 整っていない（整える予定がない・検討していない）
------	--------------------------------	---

IX 管理者の選任

これまで「通達・指針」の中で選任が努力義務であった化学物質管理責任者や保護具着用管理責任者は、今般「法」の中で義務化されたものとは別という認識でお書きください。

問 22	化学物質管理者を選任する準備はしていますか。	1. 選任する予定がある・検討している ⇒問 24 へ 2. 選任する予定がない・検討していない ⇒問 23 へ
問 23	化学物質管理者を選任する予定がない理由は何ですか。	1. リスクアセスメント対象物質を扱っていない 2. 人材がない 3. 選任する義務があるのを知らなかった 4. その他（ ）
問 24	保護具着用管理責任者を選任する準備はしていますか。	1. 選任する予定がある・検討している ⇒問 26 へ 2. 選任する予定がない・検討していない ⇒問 25 へ
問 25	保護具着用管理責任者を選任する予定がない理由は何ですか。	1. リスクアセスメントの結果、措置不要である 2. 人材がない 3. 選任する義務があるのを知らなかった 4. その他（ ）

X 和歌山産業保健総合支援センターの支援

問 26	新たな化学物質管理について、和歌山産業保健総合支援センターに望むことは何ですか。（複数回答可）	1. セミナー、講習会の開催等による情報提供 2. センターに相談窓口の設置 3. 専門家の紹介・派遣 4. マニュアル・ガイドブック等の作成・配付 5. 企業同士の情報交換会の開催 6. その他（ ） 7. 特にない
------	---	---

XI 回答者の職種

問 27	回答者（複数の場合は回答責任者）の職種・立場をお教えてください。	1. 担当職員（総務・人事など） 2. 衛生管理者・衛生推進者 3. 作業主任者 4. 経営責任者 5. その他（ ）
------	----------------------------------	---

ご協力ありがとうございました
同封の封筒にて、10月20日（金）までに
和歌山産業保健総合支援センターへお送りください。

「新たな化学物質管理に関する調査」の回答(実数)

- ・小規模は労働者数が 50 人未満、中規模は労働者数が 50 人以上 100 人未満、大規模は労働者数が 100 人以上の事業所を指す
- ・その他の回答の()内は、件数を示す。

I 事業場について

1) 事業場

業種	小規模	中規模	大規模	無回答	総計
1. 製造業	54	26	33	1	114
2. 建設業	6	1	2		9
3. 運輸(貨物を含む)・通信業	1		2		3
4. サービス業	8	1	1		10
5. 卸売り小売業・飲食店	7	1			8
6. 金融保険業	0				0
7. 電気・ガス・水道	2				2
8. 医療・福祉	1		2		3
9. その他	4	1	2		7
無回答	2			1	3

○その他

小規模	農林水産関連業種、請負業、自動車整備業
中規模	官公庁
大規模	地方公務、教育関係

2) 管理体制

産業医	小規模	中規模	大規模
1. いる	16	30	40
	1	12	29
	2	1	3
	3		2
	6		1
無回答	3	1	3
2. いない	65		2
無回答	2		
総計	83	30	42

衛生管理者	小規模	中規模	大規模
1. いる	20	29	41
	1	16	25
	2	2	1
	3		2
	4		1
	5		3
	8		1
	10		1
	26		1
	36		1
無回答	2	0	4
2. いない	62		1
無回答	1	1	
総計	83	30	42

衛生推進者	小規模	中規模	大規模
1. いる	37	7	16
1	19	5	5
2	12	1	1
3	1		
4	1		
5	1		1
6			1
7			1
8		1	
9	1		
10			1
17			1
20			1
22			1
32			1
無回答	2	0	2
2. いない	41	18	23
無回答	5	5	3
総計	83	30	42

保健師・看護師	小規模	中規模	大規模
1. いる	4	2	15
1	3	2	9
2			2
3			1
4			1
5			1
34			1
無回答	1		
2. いない	73	24	25
無回答	6	4	2
総計	83	30	42

衛生委員会 (安全衛生委員会)	小規模	中規模	大規模
1. 毎月開かれている	21	29	38
2. 時々開かれている	7	1	3
3. 必要な時に開かれている	13		1
4. 開かれていない	42		
総計	83	30	42

作業環境測定の実施	小規模	中規模	大規模
1. 定期的に実施している	35	21	33
第3管理区分 ある	4	3	9
ない	21	17	18
親会社で実施	1		
無回答	9	1	6
2. 時々実施している	11	3	
第3管理区分 ある	1	1	
ない	6	1	
無回答	4	1	
3. 実施していない	37	6	6
無回答			3
総計	83	30	42

作業主任者の選任	小規模	中規模	大規模
1. している	55	28	35
2. していない	26	2	5
無回答	2		2
総計	83	30	42

II 労働安全衛生法等の改正の周知

問1 2022年5月に、労働安全衛生法令等が改正されたことを知っていますか。

労働安全衛生法令等の改正	小規模	中規模	大規模
1. 知っている	30	19	35
2. 知っているが、詳しい内容まで分からない	31	8	5
3. 知らない	22	3	2
総計	83	30	42

III ラベル表示、SDS 交付、リスクアセスメントの対象物質の取り扱い

問2 ラベル表示・SDS 交付・リスクアセスメント実施の対象物質を扱っていますか。

ラベル表示・SDS 交付・リスクアセスメント実施の対象物質の取り扱い	小規模	中規模	大規模
1. はい	63	27	38
2. いいえ	9	3	3
3. わからない	11		1
総計	83	30	42

問3 ラベル表示、SDS に基づいて作業者に衛生教育などを行っていますか。

ラベル表示、SDS に基づいた作業者への衛生教育など	小規模	中規模	大規模
1. 行っている	37	23	29
2. 行っていない(行う予定がある・検討している)	19	4	6
3. 行っていない(行う予定がない・検討していない)	6		3
無回答	1		
総計	63	27	38

問4 ラベル対象物を別容器に入れる、または包装して保管するときは、内容物の名称、人体に及ぼす作用を明示していますか。

ラベル対象物を別容器に入れるとき等、内容物の名称等の明示	小規模	中規模	大規模
1. 明示している	32	17	30
2. 明示していない(明示する予定がある・検討している)	18	7	4
3. 明示していない(明示する予定がない・検討していない)	10	2	4
無回答	3	1	
総計	63	27	38

問5 化学物質のリスクアセスメントを行っていますか。

化学物質のリスクアセスメント	小規模	中規模	大規模
1. 行っている	33	20	31
2. 行っていない(行う予定がある・検討している)	21	8	8
3. 行っていない(行う予定がない・検討していない)	29	2	3
総計	83	30	42

問6 化学物質のリスクアセスメントを行った結果に係る記録を作成して保存していますか。

化学物質のリスクアセスメントを行った結果に係る記録の保存	小規模	中規模	大規模
1. 保存している	25	16	29
2. 保存していない(保存する予定がある・検討している)	8	4	2
3. 保存していない(保存する予定がない・検討していない)	0	0	0
総計	33	20	31

問7 SDS交付対象物を扱う設備の改造、修理、清掃等の仕事を外注する際、請負人に化学物質の危険性、有害性について文書で交付していますか。

設備の改造等の際、請負人に危険性、有害性について文書での交付	小規模	中規模	大規模
1. 交付している	16	10	18
2. 交付していない(交付する予定がある・検討している)	24	12	13
3. 交付していない(交付する予定がない・検討していない)	35	7	11
無回答	8	1	
総計	83	30	42

IV 有害物のばく露の軽減状況

問8 有害物の労働者へのばく露を軽減するために、どのような措置を講じていますか。(複数回答可)

有害物の労働者へのばく露を軽減するため措置	小規模	中規模	大規模
1. 代替物の使用	9	5	17
2. 作業方法の改善	29	16	17
3. 設備の密閉	12	12	9
4. 局所排気装置・全体換気装置の設置	51	17	30
5. 呼吸用保護具の使用	59	25	25
6. 保護眼鏡・保護衣・保護手袋・シューズカバー等の使用	59	23	36
7. その他			1
8. 上記のような措置は講じていない	7		1
無回答	9	0	1

○その他

大規模	設備の改造
-----	-------

問9 ばく露を軽減するために講じた措置については、掲示・書面交付・記録内容を確認できる機器の設置などで労働者に通知していますか。

ばく露を軽減するために講じた措置について労働者への通知	小規模	中規模	大規模
1. 通知している	33	24	28
2. 通知していない(通知する予定がある・検討している)	24	4	8
3. 通知していない(通知する予定がない・検討していない)	25	2	6
無回答	1		
総計	83	30	42

問10 ばく露を軽減するために講じた措置について、関係する労働者の意見を聞く機会を設けていますか。

ばく露を軽減するために講じた措置について、労働者の意見を聞く機会	小規模	中規模	大規模
1. 設けている	30	25	27
2. 設けていない(設ける予定がある・検討している)	27	4	10
3. 設けていない(設ける予定がない・検討していない)	25	1	5
無回答	1		
総計	83	30	42

V リスクアセスメント対象物健康診断(特殊健康診断)の実施状況

問11 特殊健康診断を実施していますか。(複数回答可)

特殊健康診断の実施	小規模	中規模	大規模
1. 雇い入れ時・配置替え時	4	8	12
2. 定期的(概ね6月ごとに1回)	55	26	37
3. その他	6	1	
4. 実施していない	22	3	4
無回答			1

○その他

小規模	1年ごと(3)、2年に1回、年1回
中規模	1年ごと

問 12 特殊健康診断を行った時は、個人票を作成していますか。

特殊健康診断の個人票	小規模	中規模	大規模
1. 作成している	54	26	36
2. 作成していない(作成する予定がある・検討している)	4	1	
3. 作成していない(作成する予定がない・検討していない)	2		1
無回答	1	0	0
総計	61	27	37

問 13 特殊健康診断の結果を受診者に通知していますか。

特殊健康診断の結果の受診者への通知	小規模	中規模	大規模
1. 通知している	60	27	37
2. 通知していない(通知する予定がある・検討している)	1		
3. 通知していない(通知する予定がない・検討していない)	0		
総計	61	27	37

問 14 特殊健康診断の結果で、必要な場合は、就業場所の変更、作業の転換等の事後措置を実施していますか。

特殊健康診断の結果で、必要な場合の事後措置	小規模	中規模	大規模
1. 実施している	33	25	23
2. 実施していない(実施する予定がある・検討している)	10		10
3. 実施していない(実施する予定がない・検討していない)	13	2	3
無回答	5	0	1
総計	61	27	37

問 15 特殊健康診断の結果に基づいて講じた措置については、掲示・書面交付・記録内容を確認できる機器の設置などで労働者に通知していますか。

特殊健康診断の結果に基づいて講じた措置の労働者への通知	小規模	中規模	大規模
1. 通知している	31	20	18
2. 通知していない(通知する予定がある・検討している)	10	1	14
3. 通知していない(通知する予定がない・検討していない)	14	6	4
無回答	6	0	1
総計	61	27	37

問 16 特殊健康診断の結果に基づいて講じた措置について、関係する労働者の意見を聞く機会を設けていますか。

特殊健康診断の結果に基づいて講じた措置について労働者の意見を聞く機会	小規模	中規模	大規模
1. 設けている	31	22	21
2. 設けていない(設ける予定がある・検討している)	11	2	10
3. 設けていない(設ける予定がない・検討していない)	14	3	5
無回答	5	0	1
総計	61	27	37

VI (安全)衛生委員会での検討事項

問 17 衛生委員会でばく露の程度を低減するための措置について話し合っていますか。

衛生委員会でばく露の程度を低減するための措置についての話し合い	小規模	中規模	大規模
1. 話し合っている	24	25	26
2. 話し合っていない(話し合う予定がある・検討している)	11	2	12
3. 話し合っていない(話し合う予定がない・検討していない)	4	3	3
無回答	2	0	1
総計	41	30	42

問 18 衛生委員会で特殊健康診断結果に基づいて講じた措置について話し合っていますか。

衛生委員会で特殊健康診断結果に基づいて講じた措置について話し合い	小規模	中規模	大規模
1. 話し合っている	21	21	19
2. 話し合っていない(話し合う予定がある・検討している)	10	2	12
3. 話し合っていない(話し合う予定がない・検討していない)	6	7	7
無回答	4	0	4
総計	41	30	42

VII 安全衛生教育の実施

問 19 労働者の雇い入れ、作業内容の変更の際に行う安全衛生教育を行っていますか。

労働者の雇い入れ、作業内容の変更の際に行う安全衛生教育	小規模	中規模	大規模
1. 行っている	49	29	38
2. 行っていない(行う予定がある・検討している)	19	1	2
3. 行っていない(行う予定がない・検討していない)	14		2
無回答	1		
総計	83	30	42

問 20 新たに職務に就くこととなった職長等に安全衛生教育を行っていますか。

新たに職務に就くこととなった職長等への安全衛生教育	小規模	中規模	大規模
1. 行っている	43	19	31
2. 行っていない(行う予定がある・検討している)	15	7	5
3. 行っていない(行う予定がない・検討していない)	23	3	6
無回答	2	1	
総計	83	30	42

VIII 労働者が罹患した疾病(がん等)の把握

問 21 労働者が罹患したがん等について把握する方法を整えていますか。

労働者が罹患したがん等について把握する方法	小規模	中規模	大規模
1. 整えている	23	15	20
2. 整っていない(整える予定がある・検討している)	28	9	11
3. 整っていない(整える予定がない・検討していない)	30	6	10
無回答	2		1
総計	83	30	42

IX 管理者の選任

問 22 化学物質管理者を選任する準備はしていますか。

化学物質管理者を選任する準備	小規模	中規模	大規模
1. 選任する予定がある・検討している	52	27	38
2. 選任する予定がない・検討していない	30	3	3
無回答	1	0	1
総計	83	30	42

問 23 化学物質管理者を選任する予定がない理由は何ですか。

化学物質管理者を選任する予定がない理由	小規模	中規模	大規模
1. リスクアセスメント対象物質を扱っていない	9	1	
2. 人材がいない	10		1
3. 選任する義務があるのを知らなかった	10	2	2
4. その他	3		1

○その他

小規模	自己管理教育、親会社で選任、対象物質が分からない
-----	--------------------------

問 24 保護具着用管理責任者を選任する準備はしていますか。

保護具着用管理責任者を選任する準備	小規模	中規模	大規模
1. 選任する予定がある・検討している	54	25	34
2. 選任する予定がない・検討していない	26	4	7
無回答	3	1	1
総計	83	30	42

問 25 保護具着用管理責任者を選任する予定がない理由は何ですか。

保護具着用管理責任者を選任する予定がない理由	小規模	中規模	大規模
1. リスクアセスメントの結果、措置不要である	8		2
2. 人材がない	9	1	
3. 選任する義務があるのを知らなかった	10	4	4
4. その他	5		1

○その他

小規模	該当しない、自己管理教育、親会社で選任、対象物質が分からない、本社にて在職者あり
大規模	必要がない

X 和歌山産業保健総合支援センターの支援

問 26 新たな化学物質管理について、和歌山産業保健総合支援センターに望むことは何ですか。(複数回答可)

新たな化学物質管理について望むこと	小規模	中規模	大規模
1. セミナー、講習会の開催等による情報提供	48	22	28
2. センターに相談窓口の設置	24	14	17
3. 専門家の紹介・派遣	13	7	12
4. マニュアル・ガイドブック等の作成・配付	44	18	21
5. 企業同士の情報交換会の開催	3	1	
6. その他	2		

7. 特にない	17	1	5
無回答	1		

○その他

小規模	真面目に検査を受けている企業には資金援助が必要です、化学物質販売業者(塗料メーカー)との連携
大規模	ネットでセミナー開催

XI 回答者の職種

問 27 回答者(複数の場合は回答責任者)の職種・立場をお教えてください。

回答者の職種・立場	小規模	中規模	大規模
1. 担当職員(総務・人事など)	22	11	17
2. 衛生管理者・衛生推進者	19	16	22
3. 作業主任者	11	1	3
4. 経営責任者	36	4	
5. その他	5	2	6

○その他

小規模	安全衛生推進者、一般作業員、工場責任者、製造、製造部門責任者、本社衛生管理者
中規模	品質管理部主任
大規模	安全管理者(2)、化学物質管理者(2)、安全衛生委員会事務局、安全衛生担当者、労働安全衛生関連の職員



裏面を
みてね♪

ドクター もりやん

*事業場の規模や業種にかかわらず、すべての事業場が対象です。

化学物質使ってる？



わさんぼちゃん



それ、本当？！

もりやん

使っていないよ。

ラベルを確認してみよう！！

和歌山産業保健総合支援センター
☎073-421-8990
URL:<https://wakayamas.johas.go.jp/>

みなさまの事業場での『化学物質の自発的管理』に向けた支援を**無料**で実施しています。

- ☐ 新たな化学物質規制に関する相談
- ☐ 専門家による実施相談（職場巡視）など





製品にラベルが貼られているんだ。そのラベルには、**化学物質の情報**が書かれているよ。



ひと目でわかりやすい！



ラベルだけだと、情報が足りないこともあるから、『**SDS＝安全データシート**』も見てね！

仕事で使っているものは、すべて化学物質が入っているんだね。





厚生労働省の『職場のあんぜんサイト』でSDSが簡単に検索できるよ。




SDS情報 化学物質一覧

化学物質は危険だし、体に害があるから、取り扱いには注意が必要なんだね。



ご相談・問い合わせは、『**和歌山さんぼ**』まで♪

和歌山産業保健総合支援センター
☎073-421-8990
URL:<https://wakayamas.johas.go.jp/>